

エジプト・アラブ共和国

貧困プロフィール

2012年3月

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

当資料は政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICA の見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

基盤
JR
12-127

目次

I. エジプトの貧困の状況の概観.....	1
1. 貧困のトレンド・状況と背景の概観.....	1
II. エジプトの貧困削減のための政策枠組み.....	3
1. 社会経済開発計画.....	3
2. 社会連帯省による貧困対策.....	3
3. 貧困マップの作成.....	4
III. 所得貧困による分析.....	9
1. 貧困線とデータ.....	9
2. 貧困の状況—貧困率・貧困ギャップ率の分析、格差の分析—ジニ係数の分析.....	10
IV. 所得貧困以外による分析.....	15
1. HDI の概況とトレンド・国際及び地域変化.....	15
2. 不平等調整済み HDI (IHDI).....	16
3. MDG 指標の分析.....	16
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析.....	18
1. 地域別に見た特徴.....	18
2. 年齢別に見た特徴.....	21
3. 男女世帯主別に見た特徴.....	22
4. 産業構造から見た特徴.....	23
5. 雇用と貧困.....	24
6. 教育と雇用.....	27
7. 宗教と貧困.....	28
VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因.....	30
1. 所得分配.....	30
(1) 経済成長に伴う所得格差の拡大.....	30
(2) 人口の多くを占める農村の貧困.....	30
(3) 投資誘致と産業構造、国内雇用への変化.....	30
2. 人口学的要因：若年層の雇用問題.....	31
(1) 若年層の失業率の高さ.....	31
(2) 労働市場のミスマッチと若年層の雇用の受け皿づくり.....	32
VII. エジプトの JICA 事業における優先分野のなかで貧困の視点から特に重要な事項と貧困との関連分析.....	34
1. 公共サービスの拡充・改善、社会福祉の向上.....	34
(1) 教育.....	34
(2) 保健.....	40

(3) 社会保護.....	45
2. 投資・ビジネス環境改善.....	48
3. 輸出振興・産業育成.....	49
4. 農業・農村開発.....	50
添付 1. 参考文献リスト.....	54
添付 2. 主要な情報源リスト.....	57

図表・地図目次

図表 1 主要指標一覧.....	v
図表 2 州別貧困率、GINI 係数他(2008/2009).....	vii
図表 3 HDI 指標.....	viii
図表 4 HDI 指標推移.....	ix
図表 5 MDG 指標.....	x
図表 6 貧困マップ（2006 年版）.....	5
図表 7 貧困マップ（2009 年版）.....	6
図表 8 最貧困サブ地区（都市部）の変遷（1996-2006）.....	7
図表 9 最貧困村（農村部）の変遷（1996-2006）.....	8
図表 10 貧困率と経済成長率の経年変化（1982-2010 年）.....	11
図表 11 統治地区別貧困率その他（2008-2009）（再掲）.....	12
図表 12 貧困ギャップ率・貧困の重度.....	13
図表 13 階層別消費格差の比較.....	14
図表 14 エジプト HDI 推移（構成要素含む）.....	15
図表 15 エジプトと周辺諸国等との HDI 比較.....	16
図表 16 エジプトと周辺諸国等との IHDI 比較.....	16
図表 17 貧困マップ（2009 年）（再掲）.....	19
図表 18 州別貧困率、GINI 他（2008/2009）（再掲）.....	20
図表 19 階層別消費格差の比較（再掲）.....	21
図表 20 地域別各年齢階層の貧困リスク.....	22
図表 21 裕福さと子供のはく奪状況との関係.....	22
図表 22 男性・女性世帯別貧困リスク.....	23
図表 23 セクター別 GDP 構成.....	24
図表 24 貧困状況別所得構成.....	24
図表 25 貧困状況別失業率（都市部および地方）.....	25
図表 26 貧困状況別失業率（地域別）.....	25
図表 27 性別・居住地・教育等各要素に基づく地域別失業率（2007 年）.....	26
図表 28 雇用形態別貧困率.....	27

図表 29	貧困状況別教育水準	28
図表 30	貧困層および富裕層との教育格差（都市部と地方別）	28
図表 31	若年層の失業率に関する諸指標	32
図表 32	MDG 指標（再掲）	35
図表 33	家計の所得と児童（6歳-12歳）の出席率の関係（2008年）	35
図表 34	主な州別教育指標（2007/2008年）	36
図表 35	教育の不均衡に関する指標（地域別）（2007/08、2009年）	37
図表 36	ジェンダー間および世代間の非識字率格差（2006年）	38
図表 37	地域間の非識字率の分布（2006年）	39
図表 38	MDG 指標（再掲）	40
図表 39	最貧困層と最富裕層の乳児死亡率・5歳未満死亡率の格差（2008年）	41
図表 40	妊産婦および子供の保健に関する指標（2008年）	43
図表 41	保健に関する主要指標（地域別）（2008年）	44
図表 42	社会問題省が提供する社会サービス	46
図表 43	社会保障プログラム一覧とその成果	46
図表 44	石油およびガスからの絶対移転	47
図表 45	各階層が受け取る石油製品補助金の割合	47
図表 46	セーフティーネット及び補助金の効果	48
地図 1	エジプト行政区画	xii
地図 2	貧困率（2006年）	xiii
地図 3	主要農業システム（2001年）	53

略語表

FHH	Female Headed Household	女性世帯主世帯
GoE	Government of Egypt	エジプト政府
HDI	Human Development Index	人間開発指数
HDR	Human Development Report	人間開発報告書
IFC	International Finance Corporation	国際金融公社
IHDI	Inequality-adjusted human development index	不平等調整済み人間開発指数
MDG	Millenium Development Goals	ミレニアム開発目標
MHH	Male Headed household	男性世帯主世帯
MoE	Ministry of Education	教育省
MoED	Ministry of Economic Development	経済開発省
MoIFT	Ministry of Industry and Foreign trade	産業貿易省
NHDR	National Human Development Report	国別人間開発報告書

OCHA	Office for Coordination of Humanitarian Affairs	国連人道調整局
UN	United Nations	国際連合
UNCTAD	United Nations Conference on Trade and Development	国連貿易開発会議
UNDAF	United Nations Development Assistance Framework	国連開発援助枠組
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
WFP	World Food Programme	世界食糧計画
WB	World Bank	世界銀行（世銀）
WIR	World Investment Report	世界投資報告書

図表 1 主要指標一覧¹

2012年1月版

主要指標一覧【エジプト】		2000年	2008年	2009年	2010年	2010年の 地域平均値
社 会 指 標 等	地表面積(1000km ²)	1,001	1,001	1,001	1,001	n.a.
	人口(百万人)	67.6	78.3	79.7	81.1	382.8
	人口増加率(%)	1.8	1.8	1.8	1.7	2.0
	出生時平均余命(歳)	69	72	73	n.a.	n.a.
	妊産婦死亡率(/10万人)	110	82	n.a.	n.a.	n.a.
	乳児死亡率(/1000人)	37.0	21.5	20.0	18.6	25.6
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日)*1	3,202	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	101.9	n.a.	108.0	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(女)(%)	93.7	n.a.	103.3	n.a.	n.a.
	中等教育総就学率(男)(%)	85.9	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	中等教育総就学率(女)(%)	79.1	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	高等教育総就学率(%)	n.a.	30.4	n.a.	n.a.	n.a.
	成人識字率(15歳以上の人口の内:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	1.8	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
失業率(%)	9.0	8.7	9.4	n.a.	n.a.	
経 済 指 標	GDP(百万USドル)	99,839	162,818	188,984	218,894	2,468,405
	一人当たりGNI(USドル)	1,440	1,880	2,160	2,420	n.a.
	実質GDP成長率(%)	5.4	7.2	4.7	5.1	3.7
	産業構造(対GDP比:%)					
	農業	16.7	13.2	13.7	14.0	n.a.
	工業	33.1	37.5	37.3	37.5	n.a.
	サービス業	50.1	49.2	49.0	48.5	n.a.
	産業別成長率(%)					
	農業	3.4	3.3	3.2	3.5	n.a.
	工業	5.3	8.5	5.7	5.6	n.a.
	サービス業	7.0	7.4	4.3	5.2	n.a.
	総資本形成率(対GDP比:%)	19.6	22.4	19.2	18.9	n.a.
	貯蓄率(対GDP比:%)	12.9	16.8	12.6	14.1	n.a.
	消費者物価上昇率(インフレ:%)	2.7	18.3	11.8	11.3	n.a.
財政収支(対GDP比:%)	n.a.	-6.4	-6.6	n.a.	n.a.	
中央政府債務残高(対GDP比:%)	n.a.	76.8	79.3	n.a.	n.a.	
貿易収支(対GDP比:%)	-6.6	-5.6	-6.6	-4.8	n.a.	
経常収支(対GDP比:%)	-1.0	-0.9	-1.8	-2.1	n.a.	
外国直接投資純流入額(百万ドル)	1,184	7,574	6,140	5,210	29,412	
対外債務残高(対GNI比:%)	28.8	20.3	17.6	16.2	n.a.	
DSR(対外債務返済比率:%)	9.8	5.6	6.4	6.0	n.a.	
総外貨準備高(輸入支払い可能月数)	6.9	6.0	7.4	6.7	24.6	
総外貨準備高(百万ドル)	13,785	34,331	34,897	37,029	1,125,135	
名目対ドル為替レート*2	3.47	5.43	5.54	5.62	n.a.	
(Pounds per US Dollar: Period Average)						
政 治 指 標	<p>政治体制:共和制。大統領が最高権力者</p> <p>憲法:1971年9月11日施行。2007年3月26日改正。11年3月19日に憲法改正案についての国民投票が実施され、賛成多数で承認された</p> <p>元首:2011年2月11日のムバラク大統領辞任に伴い、軍最高評議会が権力掌握。議長 ムハンマド・フセイン・タンタウィ (Muhammad Hussein TANTAWI)</p> <p>議会:人民議会(定数518、任期5年)と諮問評議会(定数264、任期6年)</p> <p>内閣:首相 カマル・ガズスーリ(Kamal El Ganzory)。2011年11月24日就任</p>					

出典 World Development Indicators Online (December 2011) World Bank

*1 FAO Food Balance Sheets (June 2010) FAOSTAT Homepage

*2 International Financial Statistics Online (January 2012) IMF

*3 世界年鑑 2011 共同通信社、各国・地域情勢 2011年12月 外務省Homepage

注 ●地域平均値は中東・北アフリカの数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高」の「2009年の地域平均値」においては、地域の数値を示す

●妊産婦死亡率の数値はWHO・ユニセフ・国連人口基金(UNFPA)の野面を反映した推定値

●総就学率は、年齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

¹ JICA 研究所にて年 3 回改定。 <https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html> (2012年3月23日アクセス)

一般政府歳入・歳出【エジプト】

	2007年	2008年	2009年	2009年		対ドルレート
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万US\$)*	対GDP比**	
歳入	205,655	248,836	288,545	52,041	27.7%	5.54
租税収入	114,326	137,195	163,223	29,438	15.7%	
社会保障	0	0	0	0	0.0%	
贈与受取	3,687	1,463	7,984	1,440	0.8%	
その他	87,642	110,177	117,338	21,163	11.3%	
歳出	218,489	271,500	313,464	56,535	30.1%	GDP(現地通貨) 1,042.200
人件費	52,746	63,531	76,967	13,882	7.4%	
財貨・サービス	17,121	18,790	25,203	4,546	2.4%	
固定資本減耗	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
利払い	38,367	40,957	43,755	7,892	4.2%	
補助金	54,231	84,431	94,113	16,974	9.0%	
贈与支払	39	3,890	4,213	760	0.4%	
扶助費	31,854	35,928	41,936	7,564	4.0%	
その他	24,132	23,973	27,276	4,819	2.6%	
非金融資産の増減	21,114	34,297	43,480	7,842	4.2%	
財政収支	-33,948	-56,961	-68,399	-12,336	-6.6%	

総支出内訳(目的別分類)【エジプト】

	2007年	2008年	2009年		2009年	
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	内訳	(百万US\$)*	対GDP比**
総支出	238,602	305,797	356,944	100.0%	64,377	34.2%
一般サービス	58,354	62,291	73,968	20.7%	13,341	7.1%
国防	17,922	20,050	22,531	6.3%	4,064	2.2%
公安	11,129	13,139	16,170	4.5%	2,916	1.6%
経済関連	13,914	18,592	23,002	6.4%	4,149	2.2%
農林水産業	6,094	n.a.	n.a.	-	n.a.	n.a.
エネルギー	433	n.a.	n.a.	-	n.a.	n.a.
鉱工業・建設業	232	n.a.	n.a.	-	n.a.	n.a.
運輸	3,112	n.a.	n.a.	-	n.a.	n.a.
通信	610	n.a.	n.a.	-	n.a.	n.a.
環境保全	828	912	1,259	0.4%	227	0.1%
住宅・生活関連施設	9,248	13,865	18,200	5.1%	3,283	1.7%
保健・医療	10,434	13,162	15,783	4.4%	2,847	1.5%
レクリエーション・文化	8,729	10,974	13,807	3.9%	2,490	1.3%
教育	27,761	33,678	39,880	11.2%	7,193	3.8%
社会保障・福祉	85,701	119,133	132,344	37.1%	23,869	12.7%
調整債	-4,417	1	0	0.0%	0	0.0%

注: 総支出内訳における総支出には非金融資産の増減を含む

会計年度は7月～6月

*: 対ドル換算レートはMarket Rate, Period Average 出典はInternational Financial Statistics (Online) January 2012 IMF

**: GDPの出典はThe World Economic Outlook September 2011 IMF Homepage

出典: Government Finance Statistics (OD-ROM) September 2011 IMF

JICAの対エジプト技術協力

通貨単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	累計
億円	12.24	14.52	13.77	24.88	24.85	622.18
百万ドル	10.52	12.33	13.32	26.36	28.31	

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月～3月), また対ドル換算レートはOECD Homepageによる

出典: JICA技術協力実績

対エジプトODA実績

《我が国》

(支出純額, 単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付額	無償資金協力	技術協力	合計
2005年	-98.89	51.55	11.05	-36.10
2006年	-40.23	22.69	12.34	-5.20
2007年	-49.96	10.59	12.33	-27.04
2008年	-38.32	33.22	16.73	11.64
2009年	-65.11	23.55	22.75	-18.81
累計	1,895.52	1,344.33	543.73	3,583.57

《DAC諸国・国際機関》

(支出純額, 単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2006年	米国 195.60	ドイツ 140.81	フランス 82.71	スウェーデン 33.16	デンマーク 29.40	-5.20	536.75
2007年	米国 462.41	ドイツ 153.91	フランス 77.13	デンマーク 30.33	オーストリア 26.15	-27.04	787.04
2008年	米国 470.78	ドイツ 170.27	フランス 141.99	デンマーク 47.42	オーストリア 28.02	11.64	959.83

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2006年	CEC 228.47	IDA 14.36	IFAD 6.20	AfDF 4.17	UNICEF 3.03	30.62	286.85
2007年	CEC 220.66	GEF 10.52	IFAD 5.51	UNICEF 3.21	UNTA 2.92	-4.59	238.23
2008年	CEC 207.68	GEF 54.48	AfDF 11.45	IFAD 6.54	GFATM 4.67	-10.74	274.08

注: 年の区切りは1月～12月の暦年, DAC累計ベース

出典: ODA国別データブック 2010 外務省

図表 2 州別貧困率、GINI 係数他²(2008/2009)

G.16 INCOME DISTRIBUTION AND POVERTY

	GDP per capita (LE)	Expenditure per capita (LE)	Income share		Gini coefficient	Poor persons (of total Population %)		Wages of poor households (% of	
			Lowest 40% of People	Ratio of highest to lowest 20%		Total	Ultra	Total Wages	Their Income
Cairo	7726.4	6151	18.8	6.1	0.30	7.6	1.7	4.9	43.2
Alexandria	8970.3	5139	22.6	4.2	0.30	6.4	1.2	4.5	44.4
Port Said	10549.7	5095	20.1	5.2	0.34	4.4	1.7	2.4	37.0
Suez	8745.8	6485	22.6	4.2	0.28	1.9	0.3	1.5	43.3
Urban Govs	00	5832	20.1	5.4	0.35	6.9	1.5	4.6	43.5
Damietta	7883.5	4670	27.2	2.8	0.21	1.1	0.2	1.2	31.8
Dakahlia	9111.5	3796	26.6	3.0	0.22	9.3	1.0	6.4	40.1
Shrkia	8700.4	3100	26.0	2.6	0.19	19.2	1.9	13.0	37.3
Kalyoubia	8134.4	3754	25.8	3.1	0.23	11.3	1.8	9.3	52.6
Kafr El Sheikh	8927.9	3526	27.1	2.8	0.21	11.2	2.1	6.9	39.7
Gharbia	8799.6	4057	25.9	3.2	0.24	7.6	0.8	6.9	52.7
Menoufia	9854.0	3355	26.4	3.1	0.23	17.9	3.1	14.2	39.0
Behera	9451.6	3039	26.2	2.6	0.19	23.5	3.8	17.8	39.0
Ismailia	8870.2	3785	24.1	3.7	0.27	18.8	4.3	13.7	40.2
Lower Egypt	00	3556	26.3	3.0	0.23	14.2	2.0	10.3	41.0
Urban	00	4327	15.1	8.0	0.27	7.3	0.8	4.9	36.4
Rural	00	3275	32.3	1.8	0.20	16.7	2.5	12.5	41.4
Giza	3242.8	3960	20.2	5.2	0.34	23.0	7.6	16.5	43.2
Beni Suef	8857.4	2555	27.0	2.8	0.21	41.5	11.5	33.1	44.8
Fayoum	8433.7	2770	27.5	2.8	0.21	28.7	5.9	19.8	36.0
Menia	8655.9	2901	25.6	3.2	0.24	30.9	7.0	23.7	39.4
Assiut	8019.6	2220	23.8	3.7	0.27	61.0	31.4	48.3	40.4
Suhag	7329.7	2392	25.8	3.1	0.23	47.5	18.5	36.3	41.2
Qena	8387.5	2646	25.0	3.1	0.23	39.0	11.5	28.5	40.2
Luxor	9105.6	2714	25.4	3.2	0.24	40.9	14.3	30.8	42.3
Aswan	7057.4	3590	23.6	3.8	0.27	18.4	4.0	13.9	40.3
Upper Egypt	00	2916	23.4	4.0	0.28	36.8	12.8	27.7	41.0
Urban	00	3879	12.8	11.0	0.33	21.3	6.3	14.7	41.6
Rural	00	2501	31.6	1.9	0.23	43.7	15.6	34.6	40.9
Red sea	8480.7	00	00	00	00	00	00	00	00
New valley	12682.2	00	00	00	00	00	00	00	00
Matrouh	10346.1	00	00	00	00	00	00	00	00
North Sinai	8884.0	00	00	00	00	00	00	00	00
South Sinai	12454.6	00	00	00	00	00	00	00	00
Frontier Govs	00	4380	22.8	4.3	0.30	11.1	3.8	9.2	46.1
Urban	00	5016	17.0	7.8	0.30	4.8	1.2	2.5	31.3
Rural	00	3165	48.2	0.7	0.23	23.2	8.7	23.4	51.9
EGYPT	10246.1	3712	22.3	4.4	0.31	21.6	6.1	15.2	41.3
Urban	00	4843	20.7	5.1	0.34	11.0	2.6	7.2	41.4
Rural	00	2924	26.8	3.1	0.22	28.9	6.5	21.8	41.2

² UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p.269. <http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name.20494.en.html> (2011年12月15日アクセス)

図表 3 HDI 指標³

Table 2.1: Evolution of the Human Development Index

The report*	1995	1996	1997/98	1998/99	2000/01	2003	2004	2005	2008	2010
Human Development Index	0.524	0.589	0.631	0.648	0.655	0.680	0.687	0.689	0.723	0.731
Income Index	0.357	0.503	0.598	0.632	0.649	0.655	0.607	0.622	0.681	0.727
Education Index	0.544	0.569	0.599	0.614	0.643	0.682	0.703	0.685	0.718	0.699
Life Expectancy Index	0.672	0.695	0.695	0.698	0.702	0.702	0.752	0.760	0.772	0.778

Source: INP. See Technical Notes. * Note: Each year refers to the data of publication of the EHDR. The reduction in the education index in the EHDR 2010 is due to the reintroduction of sixth primary grade which led to a decline in the measure of school enrollment.

Figure 2.1: Evolution of the Human Development Index

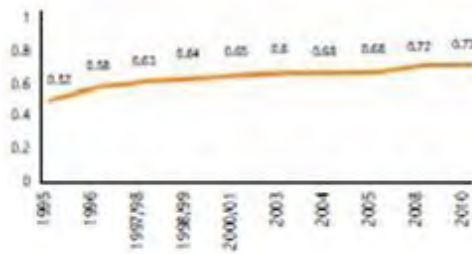
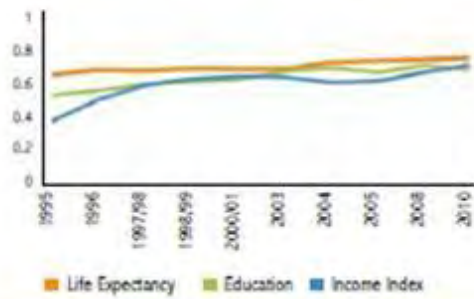
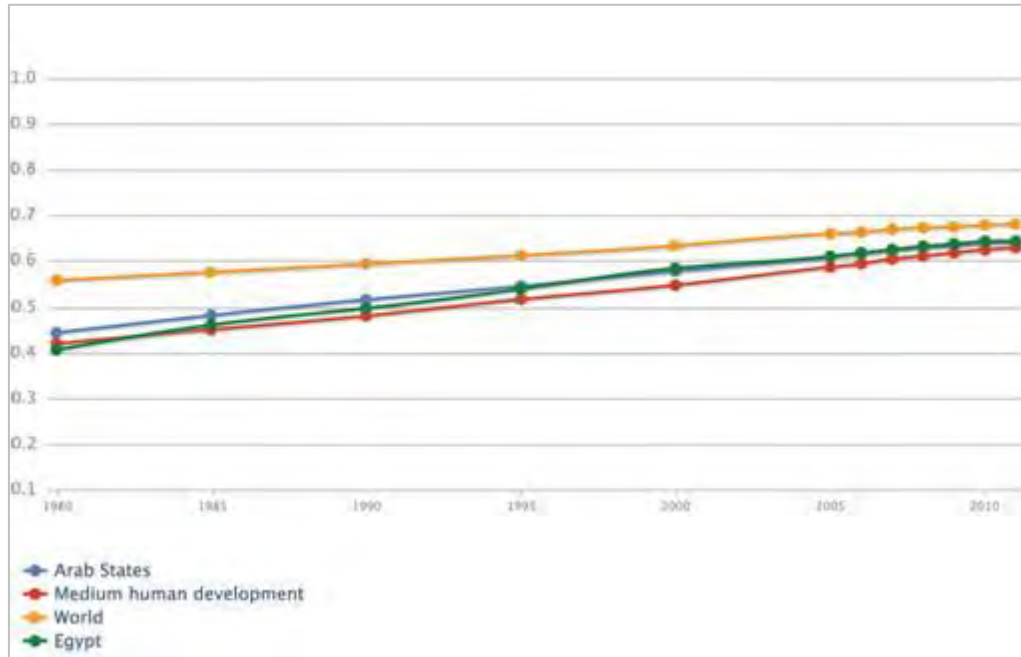


Figure 2.2: Evolution of Sub-Indexes of the Human Development Index in Various Reports



³ UNDP (2010), Egypt Human Development Report 2010 Youth in Egypt: Building our Future, pp.20-21

図表 4 HDI 指標推移⁴



⁴ <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/EGY.html> (2012年1月13日アクセス)

図表 5 MDG 指標⁵

Goal target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
Goal 1 - Eradicate extreme poverty and hunger					
Target 1: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than 1.25 dollar a day	● ¹				
Target 2: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people				●	
Target 3: Have, between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer hunger			●		
Goal 2 - Achieve universal primary education					
Target 4: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling		● ²			
Goal 3 - Promote gender equality and empower women					
Target 5: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2015		●			
Goal 4 - Reduce child mortality					
Target 6: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	●				

1. Only based on the narrow definition of proportion of people whose income is less than 1.25 dollar a day.
 2. Except for the share of women in wage employment in non-agriculture sector and proportion of seats held by women in Parliament that will not be achieved by 2015.

Goal target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
Goal 5 - Improve maternal health					
Target 7: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality rate		● ³			
Target 8: Achieve, by 2015, universal access to reproductive health			●		
Goal 6 - Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases					
Target 9: Have halted by 2015 and begun to reverse the spread of HIV/AIDS					●
Target 10: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it				●	
Target 11: Have halted by 2015 and begun to reverse the incidence of malaria and other major diseases		● ⁴			
Goal 7 - Ensure environmental sustainability					
Target 12: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources		●			
Target 13: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss		●			

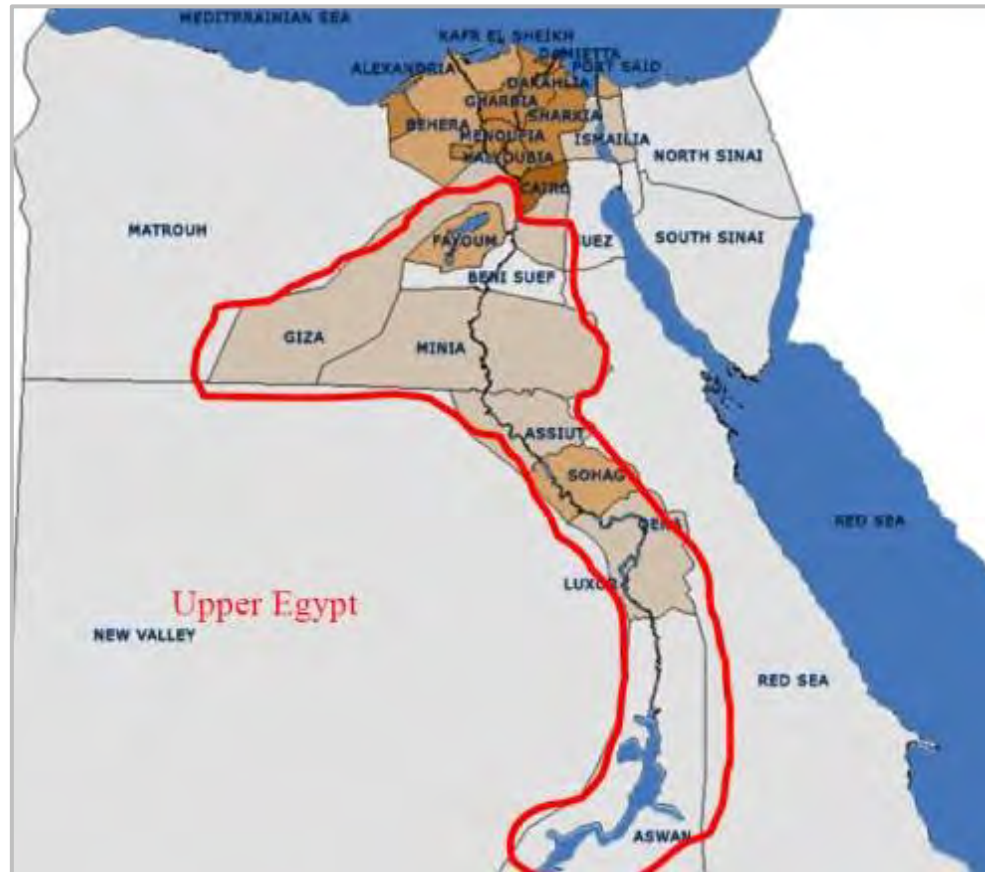
3. Depending on national estimates that should be validated.
 4. Shistosomiasis is very likely to be achieved, tuberculosis possible but viral Hepatitis C unlikely to be achieved.

⁵ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, pp.151-154.
http://hdr.undp.org/xmlsearch/reportSearch?v=*%&c=n%3AEgypt&t=*%&lang=en&k=&orderby=year
 (2011年12月15日アクセス)

Goal target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
<p>Target 14: Halve, by 2015, the proportion of people without sustainable access to safe drinking water and basic sanitation.</p> <p>A. Drinking Water:</p> <p>B. Basic Sanitation:</p>					
<p>Target 15: By 2020, to have achieved a significant improvement in the lives of at least 100 million slum dwellers.</p>					
Goal 8: Develop a global partnership for development					
<p>Target 16: Develop further an open, rule-based, predictable, non-discriminatory trading and financial system.</p>					
<p>Target 17: Address the special needs of the least developed countries.</p>					

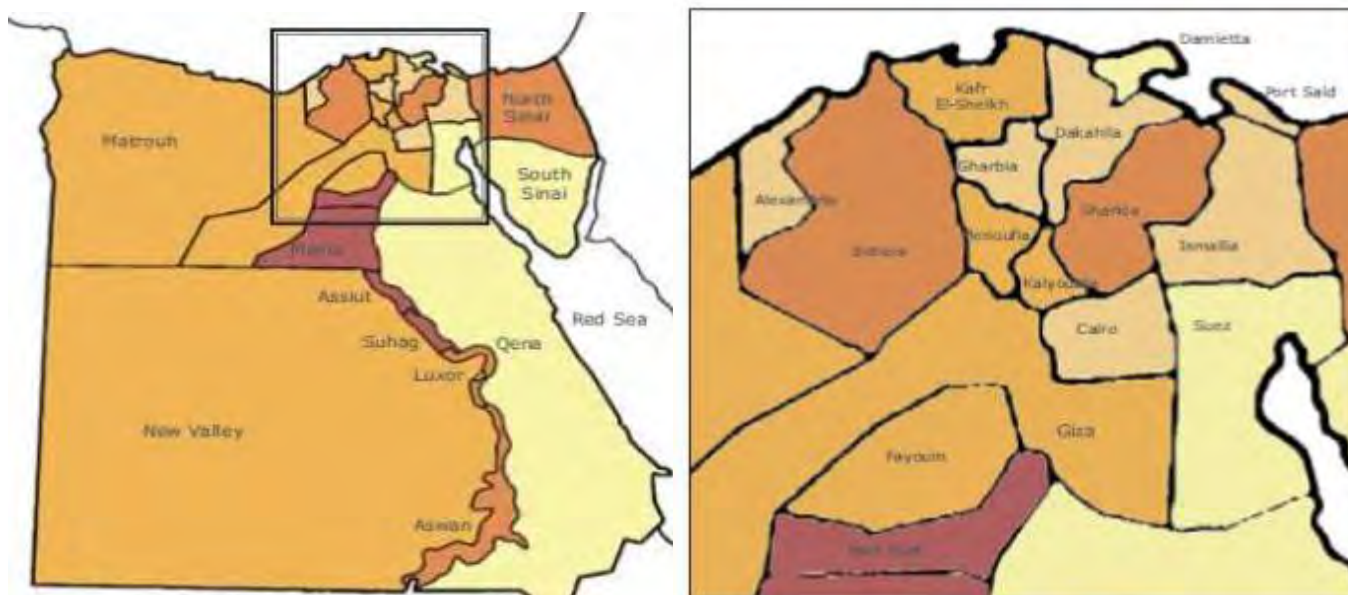
Goal target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
<p>Target 18: Address the special needs of landlocked developing countries and small island developing States (through the Programme of Action for the 30 Sustainable Development of Small Island Developing States and the outcome 5 of the twenty-second special session of the General Assembly).</p>					
<p>Target 19: Deal comprehensively with the debt problems of developing countries through national and international measures in order to make debt sustainable in the long term.</p>					
<p>Target 20: In cooperation with pharmaceutical companies, provide access to affordable essential drugs in developing countries.</p>					
<p>Target 21: In cooperation with the private sector, make available the benefits of new technologies, especially information and communications.</p>					

地図 1 エジプト行政区画⁶



⁶ WB(2009), Arab Republic of Egypt, Upper Egypt: Pathways to Shared Growth, p. 7.
<http://siteresources.worldbank.org/INTDEBTDEPT/Resources/468980-1218567884549/5289593-1224797529767/EgyptDFSG03.pdf> (2011年12月15日アクセス)
地図は2008年時点のもの。当時は26県だったが、後に2県（Helwan, 6th of October）が追加された。

地図 2 貧困率 (2006 年) ⁷



Poverty Rate	No. of Villages			
0-3%	Menia	319	Dakahlia	17
3-8%	Suhag	243	Sharkia	7
8-18%	Assiut	200	Qena	6
18-33%	Beni Suef	80	Kafr El-Sheikh	4
	Giza	76	Meoufia	3
	Aswan	22	Behera	1
	Damietta	22		

⁷ UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 51.
<http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name,3450,en.html> (2011 年 12 月 15 日アクセス)

I. エジプトの貧困の状況の概観

1. 貧困のトレンド・状況と背景の概観

貧困削減は、エジプト政府の長期的開発ビジョンの主要目標の1つに掲げられている。エジプト全体の貧困率は過去数十年に亘って低下しており、これは乳幼児死亡率の低下、初等・中等教育への就学率の上昇等の社会指標の改善によるものである⁸。他方で、エジプト全体では貧困状況が改善しつつあるものの、全てのエジプト人がその恩恵を受けているわけではなく、特に上エジプト地域の貧困層の生活水準は依然として低いままである。エジプトは首都であるカイロを挟んで大きく上エジプト地域と下エジプト地域（デルタ地域）に分けることができるが⁹、下エジプト地域の都市及び農村は経済成長の恩恵に与っているとされる一方、上エジプト地域はエジプトの他のどの地域よりも深刻な貧困が存在している。長い間、エジプトの貧困は、全国の農村に見られるものとされてきたが、近年は主に上エジプト地域における現象として捉えられるようになってきている¹⁰。

貧困の地域格差は、地域間の成長構造の違いによって説明される。下エジプト地域（大都市、農村を含む）は大きく貧困率が低下しているが、これは、カイロ等の大都市や下エジプト地域における工業・サービス部門の成長によるものである。逆に人口の約30%を抱え、上エジプト地域における経済活動の中心である農業部門の成長は鈍化している。一方で、エジプトでは貧困の状況はそれほど根深くなく、貧困層の多くは貧困線を僅かに下回るあたりに位置しているため、効果的な貧困政策が実施され、かつ貧困削減を目的とした資金供給が実施されれば、比較的少ない額で貧困削減につなげることが可能であるとする分析もある¹¹。

エジプト政府は、貧しい人々のエンパワーメント、社会・経済開発、生活水準の向上を目的とした貧困削減に取り組んでいる。政府は、貧困削減を達成するために特定集団への公的資金の支出、保健・社会サービスの拡充、補助金を付与した生活必需品の供給等様々な枠組み・手法を実施してきた。しかし、こうした取り組みは、貧困層以外の階層が恩恵を受けるといった結果や高コストの発生等の非効率な結果を招いているため、貧困層の地域の分布を特定するための新たな枠組み・手法が求められるようになってきている¹²。

2000-2005年に経済成長率が低迷した結果、同期間中の貧困率は悪化したものの、2005-2008年の好景気によって貧困率は改善した。しかし、2009年には再び貧困率が悪化している。2008/09年に実施された全国的な世帯の所得、消費及び支出に関する調査

⁸ UN Egypt (2005), UN Common Country Assessment, Embracing the Spirit of the Millennium Declaration, p. 20.

<http://www.undg.org/unct.cfm?module=CoordinationProfile&page=Country&CountryID=EGY&fuseaction=UN%20Country%20Coordination%20Profile%20for%20Egypt> (2011年12月15日アクセス)

⁹ 一般的に、上エジプトはカイロより南部のナイル川上流地域を、下エジプトはカイロより北部のナイル川下流デルタ地域を指す。

¹⁰ UN Egypt (2005), UN Common Country Assessment, Embracing the Spirit of the Millennium Declaration, pp. 20-21.

¹¹ UN Egypt (2005), UN Common Country Assessment, Embracing the Spirit of the Millennium Declaration, p. 21.

¹² UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 30

(Household Income Expenditure and Consumption Survey) の予備分析 (preliminary analysis) では、2009 年に再び貧困率が悪化した理由として、世界経済危機に伴う投資、雇用、経済成長の低下が指摘されている。同分析は、エジプトの貧困状況は経済動向に左右されやすいため、世界経済危機で打撃を受けた国内経済の回復に向けた取り組みの強化が貧困削減にとって重要であると指摘している¹³。

¹³ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 25.

II. エジプトの貧困削減のための政策枠組み

1. 社会経済開発計画

エジプト政府は、2007/08年度¹⁴から2011/12年度に亘る第6次五か年社会経済開発計画において、経済成長と同様に社会的公平性の改善を掲げている¹⁵。現在の第6次五か年計画は、雇用、教育、経済、社会開発を重点分野としており¹⁶、2017-22年長期ビジョン¹⁷、2005-2011年大統領選挙綱領プログラム¹⁸、MDG、2005-15年新社会契約¹⁹に基づき策定されている。同開発計画の主な概念的フレームワークは、投資及び経済改革による経済成長、雇用促進、コミュニティの参加、持続可能な発展を達成するための天然資源の保護及び使用の合理化、世界経済への統合を加速するためのエジプト経済の競争力向上といった基本原則から構成されている。具体的目標としては、年平均8%の実質経済成長、年平均6%の一人当たり所得成長、年間75万人分の雇用創出、人口増加率の低下(2.04%→1.9%)、物価上昇率の抑制(6%を上限)、貧困線以下で暮らす人口の減少(2012年までに15%、2012年までに12%)、非識字率の低下(2006年29.3%から2012年までに20%)が掲げられている²⁰。

2. 社会連帯省による貧困対策

貧困削減戦略として、食料補助制度及び現金給付プログラムを実施する権限が社会連帯省に与えられている。同省の重要なイニシアティブには、貧困層対象プロジェクト、食

¹⁴ エジプトの会計年度は7月1日から。よって2007/08年度は、2007年7月1日から2008年6月30日まで。

¹⁵ 経済開発省(MoED)(2007), The Sixth Five-Year Plan 2007-2012. 2007, pp. 180-181.

<http://www.mop.gov.eg/english/sixth%20five%20year.html> (2011年12月15日アクセス)

同計画では貧困層に対する社会的保護対策を現物支給から現金給付へ漸次切り替えることで現金給付を受ける世帯数が2百万世帯に倍増させることを計画している(UNDP(2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p.79.参照)。

<http://www.un.org.eg/Publications.aspx?pageID=43> (2011年12月15日アクセス)

なお、MoEDは、2007/08年度開発計画のフォローアップレポートを発表し、マクロ経済指標を中心とする分析を行っているが、貧困に関する具体的な情報は示されていない。

¹⁶ UNDP Egypt(2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 14.

¹⁷ “Vision for Egypt, s Development by 2022”とも称され、高い経済成長率及び貧困・所得格差の削減を目標に掲げている。同ビジョンが長期的な目標を掲げているのに対し、五か年計画は中期計画という位置付けとなっている(GoE/UNDAF(2009), Development Assistance Framework(2007-2011), Mid-Term Review, p. 31.参照)。

<http://erc.undp.org/evaluationadmin/manageevaluation/viewevaluationdetail.html?evalid=3622> (2011年12月15日アクセス)

¹⁸ ムバラク元大統領が、2005年の大統領選挙時に発表した計画。社会・経済、政治等様々な側面を改革するためのビジョンが含まれた(Ministry of Education(2007), National Strategic Plan for Pre-University Education Reform In Egypt, p. v.参照)。

http://planipolis.iiep.unesco.org/format_liste1_en.php?Chp2=Egypt (2011年12月15日アクセス)

¹⁹ 2005年のNHDRでは、同社会契約は、基本的に貧困層に焦点を当てて策定された行動計画であると定義する一方で、その他の市民にも代替的な選択肢を与えるものであり、エジプト人全体の能力向上を目的とするものであると説明されている(Egypt Human Development Report, Choosing our Future: Towards a New Social Contract, p. 46.参照)。

<http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name.3335.en.html> (2011年12月15日アクセス)

²⁰ UNDP Egypt(2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 14.

料及び液化ガスシリンダー（調理用ガスシリンダー）に対する補助金付与、条件付現金給付が含まれる。同省は、行政開発省と協力して、貧困に関するデータベースを拡大・統合するほか、食料補助金の管理、既存の配給カード制度に取って代わる“スマート・カード”の導入を計画している。スマートカードは、現金補償等、補助金制度以外の社会支援への応用を目指している²¹。

3. 貧困マップの作成

経済開発省 (MoED) は、世界銀行 (世銀) と共同で発表した *Poverty Assessment Update* (WB, 2007) の中でエジプトの貧困マップを作成している。これは、低い生活水準、高い失業率の要因に関する詳細情報、最小の行政単位 (村、地区) に関する指標を提供している。また、同マップにより、貧困地域の正確な情報の把握、貧困対策による貧困層以外の受益者発生 の 阻止、貧困層の実際のニーズ解明によって、貧困対策や公共支出の効率化につながる ことが期待される²²。

2006 年に作成された貧困マップでは、1996 年の貧困マップとの比較において以下の点 が指摘されている²³。

- ・ 都市と比べて農村²⁴における生活水準に大きな乖離があり、一部の村では貧困率が高い。貧困率が高い村の代表的なものとして、ミニア、アシュート、ソハーグといった上エジプトの地域が挙げられる。
- ・ 1996 年から 2006 年までの間、一部の村や都市の小地区において依然として貧困が見られる。この間、最も貧しい農村の集落において貧困の集中の度合いが高まっている。
- ・ 1996 年と 2006 年の貧困マップでは、最も貧しい地域のうち半数が 10 年前と変わらず貧しい状況にあり、1996 年の時点で貧しいとされた地域のうち半数が貧困から脱出した。他方で、以前は貧困ではなかった地域の多くが貧困に陥った。

²¹ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xix-xx.

²² UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 30. また、新たに作成された貧困マップは、1996 年及び 2006 年の国勢調査、1995/96 年及び 2004/05 年に実施された世帯の所得、支出及び消費に関する調査の結果を用いつつ世銀の手法を適用している (UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 53. 参照。 <http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name.3450.en.html> (2011 年 12 月 15 日アクセス))。

²³ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, pp. 26-27.

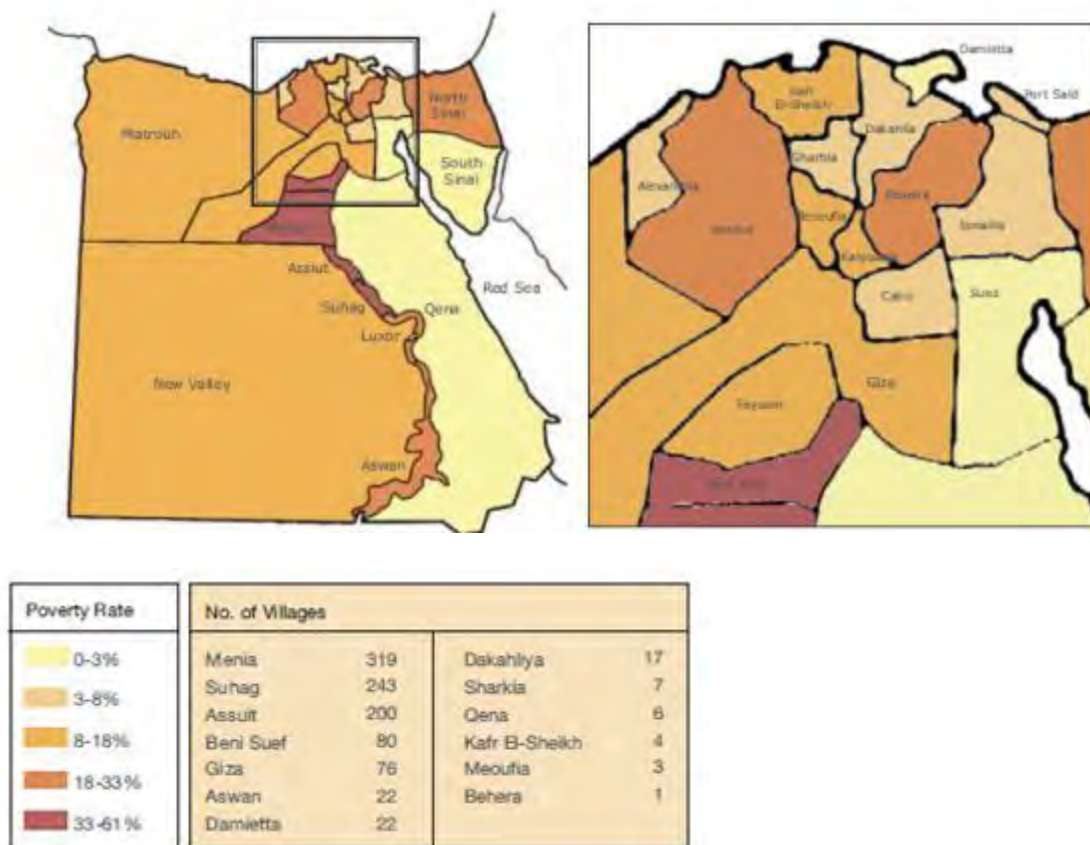
²⁴ エジプトにおける農村と都市の定義は議論のあるテーマである。エジプトの地方は、小さな町 (small towns)、“母”村 (mother villages)、母村を取り巻く“衛星”村 (affiliated or satellite villages)、小村が密集して混在する集落 (hamlets) からなる。統計は、行政上の定義に応じて農村と都市の区別がなされ、都市は大都市周辺地域の住宅地を除いた地域として定義される。密集した農村地域における多くの母村は、他の国々で都市の通常の最低ラインとされる 5 千人の住民を優に超え、経済活動も純粋な農業からサービス業へと変化している。仮にエジプトで 5 千人以上の住民が住む地域を都市とする定義を適用すると全人口の 86% が都市に住む人々となる。(WB (2009), Arab Republic of Egypt, Upper Egypt: Pathways to Shared Growth, p. 8. 参照) <http://siteresources.worldbank.org/INTDEBTDEPT/Resources/468980-1218567884549/5289593-1224797529767/EgyptDFSG03.pdf> (2011 年 12 月 15 日アクセス)

- ・ 最貧困と定義される都市の地区の多くは、2006 年までに貧困から脱したと推測されるが、これは都市において高い流動性があったことを示唆している。

なお、貧困マップは 2009 年に更新されている。最新版の貧困マップによれば、最貧困の村はエジプト全体で 1,141 あり、10 の統治地区 (governorate)、すなわち、ミニア、ソハグ、アシュート、キナ (Qena)、 シャルキーア (Sharkia)、ベヘラ (Behera)、10 月 6 日 (6 October)、ヘルワン (Helwan)、ベニ・スエフ (Beni Suef)、アスワン (Aswan) の地域にまたがって存在する。これら最貧困の村には、1100 万人が住んでおり、そのうち貧困層は 530 万人、人口比にして約 45%に達する (図表 7 参照) ²⁵。

もっとも、貧困マップは、貧困が存在する場所を特定することのできる便利なツールであるが、貧困対策として数あるメカニズムの 1 つにすぎず、貧困対策には貧困マップとそれを補完する他の手法が必要である²⁶。

図表 6 貧困マップ (2006 年版) ²⁷



²⁵ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 31.

²⁶ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 27.

²⁷ UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 51.

図表 7 貧困マップ (2009 年版) ²⁸

Table 2.3: Updated Poverty Map: Geographic Distribution of Poorest Villages

Governorate	Number of Poorest Villages*	Number of Population	Number of the Poor	Number of Households	Number of Poor Households
Menia	356	3049039	1270324	654148	272083
Suhag	271	2733101	1268608	593151	274016
Assiut	236	2530302	1436795	527027	298569
Qena	150	1497021	587743	305470	119167
Sharkia	74	606968	227576	131022	49182
6 October	8	46656	17109	9983	3660
Helwan	10	86945	31702	18394	6697
Beni Suef	13	86807	31162	15542	5584
Behera	19	16406	5839	2786	996
Aswan	4	6518	2391	1803	655
Total	1141	11849763	5349249	2489326	1130609

Source: Ministry of Economic Development, the National Project for geographic targeting of poverty, June 2009.

Note: * These villages include 142 villages distributed within the local units of the governorates of Menya (46) and Suhag (21) and Assiut (2) and Qena (38) and Sharkia (29) and Behera (16).

²⁸ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 31.

図表 8 最貧困サブ地区（都市部）の変遷（1996-2006）²⁹

Table 1.12: Transition In/Out of Poverty of the Poorest Sub-Districts in Egypt, 1996-2006

	Poorest 50 sub districts			Poorest 100 sub districts			Poorest 200 sub districts			Total sub Districts
	In	Out	Stay	In	Out	Stay	In	Out	Stay	
Cairo				11	1		47	1	1	283
Alexandria				1	4		2	9	5	121
Port Said										15
Suez	1			1			1			10
Metropolitan	1	0	0	13	5	0	30	10	4	429
Damietta				1			3			11
Dakahlia	5	1		11	1	1	13	2	6	25
Sharkia	1	7		3	12		4	19	4	32
Qalyoubia		2			7			14		16
Kafr Elsheikh	1	3		1	4	1	2	5	4	16
Garbia		1			1			3		32
Menofia		8			9			11		14
Behera		3			6			9		19
Ismailia										13
Lower Egypt	7	25	0	16	40	2	22	63	14	178
Giza	3		1	8	1	2	14	1	8	51
Beni-Suef	1	1	1	2	2	2	2		6	15
Fayoum		1			4			3	3	10
Menia	1		1	4	1	1	4		9	16
Assiut	15	1	1	12		8	7		16	25
Sohag	6		1	6		4	6		9	16
Qena	5			6	1	3	1	1	10	14
Aswan	3			7			3		7	12
Luxor		7			7			7		7
Upper Egypt	34	10	5	45	16	20	37	12	68	166
All Egypt	42	35	5	74	61	22	102	85	86	273

Source: CAPMAS, 1996 and 2005 HIECSs and 1996 and 2006 Population Censuses, Staff calculations

²⁹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 24

図表 9 最貧困村（農村部）の変遷（1996-2006）³⁰

Table 1.13: Transition In/Out of Poverty of the Poorest Villages in Egypt, 1996-2006

	Poorest 100 villages			Poorest 500 villages			Poorest 1000 villages			Total Villages
	In	Out	Stay	In	Out	Stay	In	Out	Stay	
Damietta	3			10			17			50
Dakahlia							5			231
Sharkia							4			259
Qalyoubia										118
Kafr Elsbeikh							3			122
Gharbia										178
Menoufia							2			177
Beheira		1			6			14		197
Ismayilia										17
Lower Egypt	3	1	0	10	6	0	31	14	0	1349
Giza	7	1		27	8	8	49	16	27	145
Beni Sueif		28		5	93	7	10	99	70	220
Fayoum		10			49			96		144
Menia	14	16		99	59	77	67	19	252	346
Assiut	4	13		45	48	12	80	13	120	234
Sohag	57	6	6	143	17	44	114	7	129	258
Qena		2			35		2	82	4	179
Aswan	6			13	3		22	5		84
Luxor		9			10			10		10
Upper Egypt	88	85	6	332	322	148	344	347	602	1620
All Egypt	91	86	6	342	328	148	378	361	602	2969

Source: CAPMAS, 1996 and 2001 HIECSs and 1996 and 2006 Population Censuses. Staff calculations

³⁰ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 26

III. 所得貧困による分析

1. 貧困線とデータ

(1) エジプト政府設定の貧困線、その根拠と妥当性の確認

貧困層を特定するにはまず貧困である人々とそうでない人々を分けるための基準が不可欠である。2007年のPoverty assessment updateでは、絶対的貧困線（Absolute poverty lines）が採用されている。具体的には、1日あたり1米ドル（絶対的な最低生活水準）および1日あたり2米ドル（貧困に陥る可能性の高い水準）という国際的な基準に沿った貧困線が採用されている。絶対的貧困線を用いることで、時系列的变化および他国の比較が容易になる³¹。

一方、特定の国の状況に焦点を当てる貧困線として国内貧困線（National poverty lines）がある。国内貧困線は次に挙げるベーシックニーズ費用法によって算定される。

2007年のPoverty assessment updateにおける貧困評価の方法論およびデータは、ベーシックニーズ費用法（The Cost of Basic Needs Method）を採用しているが、これは1996-2000年を対象期間としてまとめられた2002年の貧困に関する報告書³²と同じである。貧困の定義については、最貧困（基本的な食料でさえ確保することができないグループ）、絶対的貧困（最低限の食料及び非食料品のニーズより少ない支出にとどまるグループ）、近貧困（基本的食料及び僅かに多い必要最低限の非食料品をかろうじて確保するグループ）に分類され、これらを総称して貧困全体と呼んでいる。ここで定義された各貧困層（最貧困、絶対的貧困、近貧困）は、最貧困、下方貧困、上方貧困の各貧困線に相当する³³。この中で、下方貧困線が国別貧困線であり、この貧困線以下の層が「貧困層」とされる。

2008年の基準では、年間支出額が1,648エジプト・ポンド³⁴（以下LE）以下の人は最貧困層、2,223LE以下の人は貧困層（下方貧困線）と見なされる。その際、上方貧困線は、非食料品に対する支出を僅かに高めに加味して2,801LEとなる。最貧困層の値は、MDGのターゲット1で定められた1日あたり1.25米ドルの値に非常に近く、上方貧困線の値についても1日あたり2.5米ドルの値に近い³⁵。

(2) データーソースの紹介とその評価

エジプトにおける貧困率は1957年から実施されている世帯の所得、支出及び消費に関する調査の結果（Household Income Expenditure and Consumption Survey: HIECS）を元に算出されている³⁶。2004/2005HIECSまでの貧困状況を分析した報告書として、2007年にMoEDが世銀と協力して作成したPoverty Assessment Updateがある。その後、最新の

³¹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 2.

³² WB (2002), Arab Republic of Egypt: Poverty Reduction in Egypt, Diagnosis and Strategy.における研究成果の改訂版という位置付けとなっている。

³³ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. ii.

³⁴ 1エジプト・ポンド(EGP) = 13.073円(JICA平成23年度精算レートによる)

http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/pdf/rate_2011.pdf

³⁵ UNDP (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xix. 脚注

³⁶ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p.1.

貧困率は、2008/09年に実施された HIECS によるものがある。1999/2000年以降のデータについては約 48,000 世帯に上る大きなサンプルを集めており、また、統計手法の面からも、Cost –of-Basic Needs の手法に統一され十分に比較分析が可能なデータである³⁷。ただし、最新の 2008/2009 年の HIECS においては辺境統治地区（Frontier Governorates）のデータが不十分な部分があり、注意が必要である³⁸。

また、エジプト中央統計局（CAPMAS）が行った調査として、世帯所得、支出、消費に関するパネル調査（Household Income, Expenditure and Consumption Panel Survey: HIECPS）がある。同調査は 2005 年から 2008 年間の世帯の消費および生活水準の変化に関する追跡調査であり、ある一定期間において同一世帯の状況を調査した初の大規模調査である³⁹。世界銀行が 2011 年に公表した、Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile 報告書は、HIECPS 調査を基に作成されたものである。

2. 貧困の状況—貧困率・貧困ギャップ率の分析、格差の分析—ジニ係数の分析

(1) 貧困率

エジプトにおける貧困は、全人口の 40%に及んでいる。2005 年の貧困率 40%は、2,800 万人に相当するが、うち 1360 万人（全人口の 19.6%）が絶対的貧困（下方貧困線以下）、1,450 万人（同 21%）が近貧困（上方貧困線以下）、260 万人（同 3.8%）が最貧困となる。多くの人が貧困線の近くに集中しているが、このことは、月額 4LE という僅かな消費が減少するだけで、全人口の 2.3%に相当する人々が新たに貧困層に転落することを意味する。反対に、僅かな所得の上昇があれば、人口の 2%以上を貧困から脱出させることが可能になる⁴⁰。

しかし、UNDP の 2010 年の報告書によると、エジプトでは、最貧困層の割合は 1990 年の 8.2%から 2008/09 年には 3.4%に減少したが、国内貧困線は、1990/1992 年の 24.2%から 2008/09 年の 21.6%に僅かに減少したに過ぎない⁴¹。エジプトでは、2005 年から 2008 年間に貧困水準は低下したが、貧困リスクは同じ割合で低下したわけではない。この間、主に都市に住む約 180 万人が貧困から抜け出したが、最低限の食料確保に要する費用を捻出できない最貧困層の数は 110 万人増加した⁴²。

³⁷ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p.2. 2000 年以前のデータについては数値に齟齬があると指摘されている。

³⁸ WFP (2011), Secondary Data Analysis, p.46 脚注。

³⁹ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile, p.2.

<http://go.worldbank.org/VIE5CX6QD0> (2011 年 12 月 15 日)

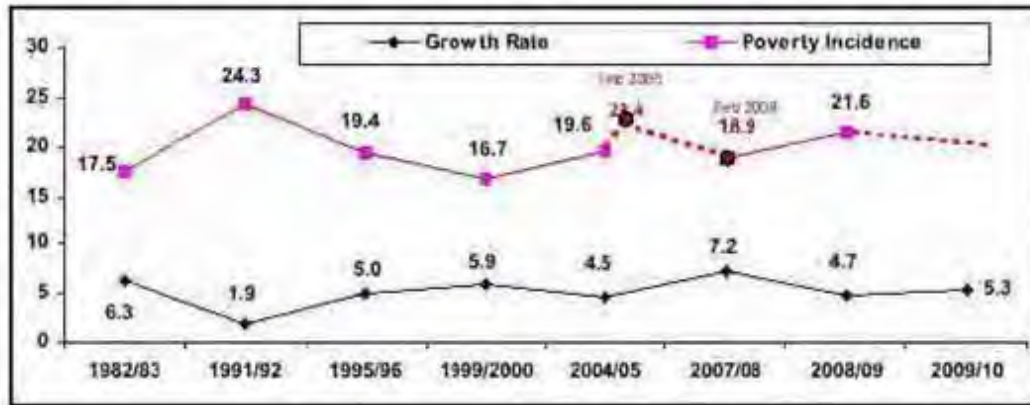
⁴⁰ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. iii.

⁴¹ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 7.

⁴² UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, pp. 50-51.

図表 10 貧困率と経済成長率の経年変化（1982-2010年）⁴³

FIGURE 1: ECONOMIC GROWTH RATES AND POVERTY INCIDENCES BETWEEN 1982-2009



Source: Ministry of Economic Development and the World Bank. The 2009 figure has been calculated based on HIECS 2008/09.

⁴³ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving. P20 http://hdr.undp.org/xmlsearch/reportSearch?v=*%&c=n%3AEgypt&t=*%&lang=en&k=&orderby=year (2011年12月15日アクセス)

図表 11 統治地区別貧困率その他（2008-2009）⁴⁴（再掲）

G.16 INCOME DISTRIBUTION AND POVERTY

	GDP per capita (LE)	Expenditure per capita (LE)	Income share		Gini coefficient	Poor persons (of total Population %)		Wages of poor households (%) of	
			Lowest 40% of People	Ratio of highest 20% to lowest 20%		Total	Ultra	Total Wages	Their Income
Cairo	7726.4	6151	18.8	6.1	0.38	7.6	1.7	4.9	43.2
Alexandria	8978.3	5139	22.6	4.2	0.30	6.4	1.2	4.5	44.4
Port Said	10549.7	5895	20.1	5.2	0.34	4.4	1.7	2.4	37.0
Suez	8745.8	6485	22.6	4.2	0.29	1.9	0.3	1.5	43.8
Urban Govs	00	5832	20.1	5.4	0.35	6.9	1.5	4.6	43.5
Damietta	7883.5	4678	27.2	2.8	0.21	1.1	0.2	1.2	31.8
Dakahlia	9111.5	3796	26.6	3.0	0.22	9.3	1.0	6.4	40.1
Shrkia	6700.4	3108	28.0	2.6	0.19	19.2	1.9	13.0	37.3
Kalyoubia	8134.4	3754	25.8	3.1	0.23	11.3	1.0	9.3	52.6
Kafr El Sheikh	8927.9	3526	27.1	2.8	0.21	11.2	2.1	6.9	39.7
Gharbia	6799.8	4057	25.9	3.2	0.24	7.6	0.8	6.9	52.7
Menoufia	9854.0	5355	26.4	3.1	0.23	17.9	3.1	14.2	39.0
Behera	9451.6	3039	28.2	2.6	0.19	23.5	3.8	17.8	39.0
Ismailia	8970.2	3785	24.1	3.7	0.27	18.8	4.3	13.7	40.2
Lower Egypt	00	3556	26.3	3.0	0.23	14.2	2.0	10.3	41.0
Urban	00	4327	15.1	8.0	0.27	7.3	0.8	4.9	38.4
Rural	00	3275	32.3	1.8	0.20	16.7	2.5	12.5	41.4
Giza	8242.8	3960	20.2	5.2	0.34	23.0	7.6	16.5	43.2
Beni Suef	8857.4	2555	27.0	2.8	0.21	41.5	11.5	33.1	44.8
Fayoum	8433.7	2770	27.5	2.8	0.21	28.7	5.9	19.8	36.0
Menia	8655.9	2901	25.8	3.2	0.24	30.9	7.0	23.7	39.4
Assiut	8019.6	2230	23.8	3.7	0.27	61.0	31.4	48.3	40.4
Suhag	7329.7	2392	25.8	3.1	0.23	47.5	16.5	36.3	41.2
Qena	6387.5	2646	25.8	3.1	0.23	39.0	11.5	28.5	40.2
Luxor	9105.6	2714	25.4	3.2	0.24	40.9	14.3	30.8	42.3
Aswan	7057.4	3590	23.6	3.6	0.27	18.4	4.0	13.9	40.3
Upper Egypt	00	2916	23.4	4.0	0.28	36.9	12.8	27.7	41.0
Urban	00	3879	12.8	11.0	0.33	21.3	6.3	14.7	41.6
Rural	00	2501	31.6	1.9	0.23	43.7	15.6	34.6	40.9
Red sea	8460.7	00	00	00	00	00	00	00	00
New valley	12682.2	00	00	00	00	00	00	00	00
Matrouh	10348.1	00	00	00	00	00	00	00	00
North Sinai	8884.0	00	00	00	00	00	00	00	00
South Sinai	12454.6	00	00	00	00	00	00	00	00
Frontier Govs	00	4380	22.8	4.3	0.30	11.1	3.0	9.2	46.1
Urban	00	5016	17.0	7.8	0.30	4.8	1.2	2.5	31.3
Rural	00	3165	48.2	0.7	0.23	23.2	8.7	23.4	51.9
EGYPT	10246.1	3712	22.3	4.4	0.31	21.6	6.1	15.2	41.3
Urban	00	4843	20.7	5.1	0.34	11.0	2.6	7.2	41.4
Rural	00	2924	28.0	3.1	0.22	28.9	8.5	21.8	41.2

⁴⁴ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future. P269.

(2) 貧困ギャップ比率・二乗貧困ギャップ比率

貧困ギャップ比率(P1)は、貧困ライン以下で生活する人々の平均支出・所得の貧困ラインからの乖離を表したもので、貧困の深度を表すものである。二乗貧困ギャップ率(P2)は、貧困ラインからの乖離率を二乗することで、より貧しい人の状況を大きく反映させようとするものである。図表 12 は、貧困ギャップ比率に関する HIECPS 調査に基づいた経年分析である。この表からわかるとおり、2005 年から 2008 年にかけて都市及び農村ともに貧困ギャップ比率は減少しており、貧困の深度は小さくなっているものの、二乗貧困ギャップ比率では、農村において比率が大きくなっている(1.6→1.8) ことが分かる。実際に同期間中、農村における最貧困層の割合が急増したことによって、最貧困層の人数は 110 万人増加している。このことは、同期間中、最貧困層の人々は経済成長の恩恵を受けておらず、経済成長が貧困削減には結びつかなかったことを示している⁴⁵。

図表 12 貧困ギャップ率・貧困の重度⁴⁶

Table 3: Poverty Measures in 2005 and 2008 with Corrected Standard Errors⁴⁷

	2005						2008					
	P0		P1		P2		P0		P1		P2	
	Est.	St.Er.	Est.	St.Er.	Est.	St.Er.	Est.	St.Er.	Est.	St.Er.	Est.	St.Er.
Urban	13.2	3.3	2.7	1.1	1.0	0.5	8.6	1.8	1.8	0.5	0.6	0.2
Rural	31.1	2.9	5.8	0.8	1.6	0.3	26.5	2.8	5.5	0.8	1.8	0.3
All Egypt	23.4	2.2	4.5	0.7	1.3	0.3	18.9	1.8	4.0	0.5	1.3	0.2

Note: all measures in percentages, P0-headcount, P1-poverty gap, P2-severity of poverty (squared P1). Table uses actual household size in 2005 and 2008 to weight data together with households sampling weights. The frontier regions are excluded from regional disaggregation due to their small sample size, yet they are included in other national averages. Source: Authors estimates based on HIECPS 2005-2008.

(3) 格差の分析—ジニ係数の分析

ジニ係数は不平等の度合いを測る指標であるが、HIECPS 調査によると、2005 年から 2008 年にかけて、ジニ係数は都市及び農村の双方で拡大している。消費別で見る階層の比較では、農村における低所得階層(25 パーセントイル/10 パーセントイル)と都市における高所得階層(90 パーセントイル/50 パーセントイル)との格差が大きくなっている(それぞれ 1.23→1.29、2.04→2.13) ことがわかる⁴⁷。

⁴⁵ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile, p. 11.

⁴⁶ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile, p. 11.

⁴⁷ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile, p. 11.

図表 13 階層別消費格差の比較⁴⁸

Table 4: Indices of Inequality for Consumption, by Urban and Rural Areas (2005-2008)

	Lower Half of the Distribution		Upper Half of the Distribution		Tails	Gini
	p25/p10	p50/p25	p75/p50	p90/p50	p90/p10	
Total						
2005	1.26	1.33	1.36	1.95	3.27	28.67
2008	1.32	1.33	1.38	1.98	3.48	30.46
Urban						
2005	1.33	1.41	1.38	2.04	3.84	30.23
2008	1.33	1.37	1.42	2.13	3.87	32.34
Rural						
2005	1.23	1.27	1.26	1.56	2.42	20.43
2008	1.29	1.31	1.28	1.59	2.68	21.99

Source: own estimates based on panel HIECPS survey 2005-2008.

⁴⁸ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ? from static to dynamic poverty profile, p. 12.

IV. 所得貧困以外による分析

1. HDI の概況とトレンド・国際及び地域変化

2011 年におけるエジプトの人間開発指数（HDI）は 0.644 で、187 の国・地域の中で 113 位（112 位フィリピン、114 位パレスチナ）で中位人間開発カテゴリーに属する。2010 年には、169 か国中 101 位であったが、HDI に含まれる国の数同様、基礎となるデータ及び手法が変わったため、過去の報告書との単純比較では誤解を招くことに留意する必要がある。1980 年から 2011 年にかけてエジプトの HDI は 59% 上昇（0.406→0.644）している。同期間中の HDI の構成要素を見ると、それぞれ平均余命は 17.1 年、期待教育年数は 3.5 年、平均就学年数は 4.4 年、1 人あたり GNI は 130% 伸びた⁴⁹。

図表 14 エジプト HDI 推移（構成要素含む）⁵⁰

Table A: Egypt's HDI trends based on consistent time series data, new component indicators and new methodology

	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Means years of schooling	GNI per capita (2005 PPP\$)	HDI value
1980	56.2	7.5	2.0	2,288	0.406
1985	59.0	8.6	3.0	2,692	0.461
1990	62.0	9.1	3.5	3,132	0.497
1995	65.6	10.4	4.0	3,431	0.539
2000	69.1	11.4	4.7	4,051	0.585
2005	71.6	11.0	5.5	4,310	0.611
2010	73.0	11.0	6.4	5,321	0.644
2011	73.2	11.0	6.4	5,269	0.644

地域別で見ると、エジプトの HDI はアラブ諸国 18 か国中 12 位であった。アラブ諸国の HDI は、2011 年に 0.641 であり、中位人間開発諸国の平均値（0.630）を僅かに上回っている⁵¹。アラブ諸国の中でエジプトの HDI 及び人口規模に近い国としてはモロッコ、シリアが挙げられる⁵²。

⁴⁹ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, p. 2.

<http://hdrstats.undp.org/images/explanations/PSE.pdf> (2011 年 12 月 15 日アクセス)

⁵⁰ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, p. 2.

⁵¹ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, p. 3.

⁵² HDR ウェブサイト (<http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/EGY.html>) 参照 (2011 年 12 月 15 日アクセス)。

図表 15 エジプトと周辺諸国等との HDI 比較⁵³

Table B: Egypt's HDI indicators for 2011 relative to selected countries and groups

	HDI value	HDI rank	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Mean years of schooling	GNI per capita (PPP US\$)
Egypt	0.644	113	73.2	11.0	6.4	5,269
Morocco	0.582	130	72.2	10.3	4.4	4,196
Syrian Arab Republic	0.632	119	75.9	11.3	5.7	4,243
Arab States	0.641	—	70.5	10.2	5.9	8,554
Medium HDI	0.630	—	69.7	11.2	6.3	5,276

2. 不平等調整済み HDI (IHDI) ⁵⁴

2010 年 HDR は、人間開発報告書が長年使用してきた人間開発指数 (HDI) を補完するため、不平等調整済み人間開発指数 (IHDI) を新たに設けた。IHDI は、不平等の度合いに応じて平均余命、教育、所得の平均値を「割り引く」ことで HDI 全ての指数における不平等を考慮したものとして採用された。HDI は潜在的な人間開発指数とされるが、IHDI は実際の人間開発指数と見なされる。不平等からくる潜在的な人間開発の損失は、HDI 及び IHDI の差異によって与えられる。以上を踏まえると、エジプトの HDI は、前述のとおり 0.644 であったのに対し、IHDI は 0.489 と、各構成要素における不平等によって 24.1% の損失が見られた。地域比較では、中位国の HDI における損失は 23.7%、アラブ諸国の HDI における損失は 26.4% であった。

図表 16 エジプトと周辺諸国等との IHDI 比較⁵⁵

Table C: Egypt's IHDI for 2011 relative to selected countries and groups

	IHDI value	Overall Loss (%)	Loss due to inequality in life expectancy at birth (%)	Loss due to inequality in education (%)	Loss due to inequality in income (%)
Egypt	0.489	24.1	13.9	40.9	14.2
Morocco	0.409	29.7	16.7	45.8	23.0
Syrian Arab Republic	0.503	20.4	10.0	31.5	18.3
Arab States	0.472	26.4	18.0	40.8	17.8
Medium HDI	0.480	23.7	19.2	29.4	22.3

3. MDG 指標の分析⁵⁶

エジプトは MDG 達成に向けて大きく前進しており、大半の MDG 目標の達成が可能と見込まれている。とはいえ、ターゲット 1 (極度の貧困と飢餓の撲滅)、3 (ジェンダー平等

⁵³ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, p. 3.

⁵⁴ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, pp. 3-4.

⁵⁵ UNDP (2011), Explanatory note on 2011 HDR composite indices, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report, Egypt, p. 4.

⁵⁶ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, pp. 15-16.

の推進と女性の地位向上)、6 (HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止) の一部の具体的な目標については未だ達成されておらず、また、進捗が遅いものもあるため、経済・財政危機、食糧・燃料の確保、伝染病、気候変動等の世界情勢を考慮しつつ、目標を達成するための取り組みを強化する必要がある。特に生産的な雇用の創出、雇用における男女間格差の解消、労働市場へのアクセス強化、女性の政界進出のための取り組みが必要とされている。HIV/AIDS 及び伝染病は、エジプトにとって重大な脅威ではないものの、B 型/C 型肝炎は深刻な保健上の危機であり、国内で見られる主な疾患や死亡理由になると考えられている。エジプトの MDG 達成に向けた進展の一方で、今後の取り組むべき課題としては以下が挙げられる⁵⁷。

- ・ 上エジプト地域及び農村を中心として、多くの地域で様々な分野にわたる不平等が存在。これらの地域における進捗が遅れているため、一部の MDG 目標達成が困難。こうした状況を受けて、政府は、格差解消に向けた貧困地域の特定、貧困層への試験的な現金給付プロジェクト等の取り組みを実施。
- ・ 男女間の格差は依然として女性の開発プロセスへの参加を阻害。
- ・ 急速な人口成長による人口規模拡大および開発プロセスから得られる利益の縮減。
- ・ 世界経済危機以前に達成した水準を上回る持続可能な経済成長率の達成。
- ・ 若者と女性に対する機会の促進及び参加度合いの拡大。

⁵⁷ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, pp. 14-16.

V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

1. 地域別に見た特徴

2009年の貧困マップによって、最貧困に陥っている1000以上の村を特定することができる。これらの村では、100万人以上の世帯、人口にして約500万人の人々が貧困に苦しんでいる。500万人という数字は、これらの村に住む全人口の約46%が貧困に苦しんでいることを示している。また、エジプト全体との比較においては、エジプトの農村在住貧困層のうち54%がこれらの村に住んでいること、エジプトの全貧困層の42%がこれらの村に住んでいることが、貧困マップによって明らかとなる。地域的な分布の観点からは、上エジプト地域の3統治地区（アシュート、ミニア、ソハーグ）に貧困村の82%が集中し、その数は794村にのぼる⁵⁸。2006年の貧困マップでは、最も貧しい村で上エジプト3統治地区に位置する村の数は762村であったことを踏まえると⁵⁹、上エジプト3統治地区に貧困村が集中するという状態に全く改善が見られないことがわかる。

また、世界銀行のWas growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor? 報告書から、都市における所得格差が拡大していることがわかる。III.2.(3)でも言及したように、都市における所得配分に関し、高所得階層（90パーセンタイル/50パーセンタイル）の格差が大きくなっており、ジニ係数の拡大に影響を与えているが、都市では高所得階層の所得が高い伸び率を示しているのに対し、20パーセンタイルから60パーセンタイルの中間層の所得の伸びは年率1%と殆ど変化がない⁶⁰。このことは、中間層が貧困層に吸収されようとしていることを示唆している⁶¹。

⁵⁸ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p.31..

⁵⁹ UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 53.

⁶⁰ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor? from static to dynamic poverty profile, p. 12.

⁶¹ 低中所得者層にとって1%の所得の伸びは、2000-2005年の経済が低迷していた期間に被った損失を補うには十分でないといわれる。WB(2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor?, p. 12.脚注参照。

図表 17 貧困マップ (2009 年)⁶² (再掲)

Table 2.3: Updated Poverty Map: Geographic Distribution of Poorest Villages

Governorate	Number of Poorest Villages*	Number of Population	Number of the Poor	Number of Households	Number of Poor Households
Menia	356	3049039	1270324	654148	272083
Suhag	271	2733101	1268608	593151	274016
Assiut	236	2530302	1436795	527027	298569
Qena	150	1497021	587743	305470	119167
Sharkia	74	606968	227576	131022	49182
6 October	8	46656	17109	9983	3660
Helwan	10	86945	31702	18394	6697
Beni Suef	13	86807	31162	15542	5584
Behera	19	16406	5839	2786	996
Aswan	4	6518	2391	1803	655
Total	1141	11849763	5349249	2489326	1130609

Source: Ministry of Economic Development, the National Project for geographic targeting of poverty, June 2009.

Note: * These villages include 142 villages distributed within the local units of the governorates of Menya (46) and Suhag (21) and Assiut (2) and Qena (38) and Sharkia (19) and Behera (16).

⁶² UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 31.

図表 18 州別貧困率、GINI 他 (2008/2009) ⁶³ (再掲)

G.16 INCOME DISTRIBUTION AND POVERTY

	GDP per capita (LE)	Expenditure per capita (LE)	Income share		Gini coefficient	Poor persons (of total Population %)		Wages of poor households (% of	
			Lowest 40% of People	Ratio of highest 20% to lowest 20%		Total	Ultra	Total Wages	Their Income
Cairo	7726.4	6151	18.8	6.1	0.38	7.6	1.7	4.9	43.2
Alexandria	8978.3	5139	22.6	4.2	0.30	6.4	1.2	4.5	44.4
Port Said	10549.7	5895	20.1	5.2	0.34	4.4	1.7	2.4	37.0
Suez	8745.8	6485	22.6	4.2	0.29	1.9	0.3	1.5	43.8
Urban Govs	00	5852	20.1	5.4	0.35	6.9	1.5	4.6	43.5
Damietta	7883.5	4678	27.2	2.8	0.21	1.1	0.2	1.2	31.8
Dakahlia	9111.5	3796	26.6	3.0	0.22	9.3	1.0	6.4	40.1
Shrkia	6700.4	3108	28.0	2.6	0.19	19.2	1.9	13.0	37.3
Kalyoubia	8134.4	3754	25.8	3.1	0.23	11.3	1.8	9.3	52.6
Kafr El Sheikh	8927.9	3526	27.1	2.8	0.21	11.2	2.1	6.9	39.7
Gharbia	6799.8	4057	25.9	3.2	0.24	7.6	0.8	6.9	52.7
Menoufia	9654.0	3355	26.4	3.1	0.23	17.9	3.1	14.2	39.0
Behera	9451.6	3039	28.2	2.6	0.19	23.5	3.8	17.8	39.0
Ismailia	8970.2	3785	24.1	3.7	0.27	18.8	4.3	13.7	40.2
Lower Egypt	00	3556	26.3	3.0	0.23	14.2	2.0	10.3	41.0
Urban	00	4327	15.1	6.0	0.27	7.3	0.8	4.9	36.4
Rural	00	3275	32.3	1.8	0.20	16.7	2.5	12.5	41.4
Giza	8242.8	3960	20.2	5.2	0.34	23.0	7.6	16.5	49.2
Beni Suef	8857.4	2555	27.0	2.8	0.21	41.5	11.5	33.1	44.8
Fayoum	8433.7	2778	27.5	2.8	0.21	28.7	5.9	19.8	36.0
Menia	8655.9	2901	25.6	3.2	0.24	30.9	7.0	23.7	39.4
Assiut	8019.6	2220	23.8	3.7	0.27	61.0	31.4	46.3	40.4
Suhag	7329.7	2392	25.8	3.1	0.23	47.5	16.5	36.3	41.2
Qena	6387.5	2646	25.8	3.1	0.23	39.0	11.5	28.5	40.2
Luxor	9105.6	2714	25.4	3.2	0.24	40.9	14.3	30.8	42.3
Aswan	7057.4	3590	23.6	3.6	0.27	18.4	4.0	13.9	40.3
Upper Egypt	00	2916	23.4	4.0	0.28	36.9	12.8	27.7	41.0
Urban	00	3879	12.8	11.0	0.33	21.3	6.3	14.7	41.6
Rural	00	2501	31.6	1.9	0.23	43.7	15.6	34.6	40.9
Red sea	8460.7	00	00	00	00	00	00	00	00
New valley	12682.2	00	00	00	00	00	00	00	00
Matrouh	10346.1	00	00	00	00	00	00	00	00
North Sinai	8884.0	00	00	00	00	00	00	00	00
South Sinai	12454.6	00	00	00	00	00	00	00	00
Frontier Govs	00	4300	22.8	4.3	0.30	11.1	3.0	9.2	46.1
Urban	00	5016	17.0	7.8	0.30	4.8	1.2	2.5	51.3
Rural	00	3165	48.2	0.7	0.23	23.2	8.7	23.4	51.9
EGYPT	10246.1	3712	22.3	4.4	0.31	21.6	6.1	15.2	41.3
Urban	00	4843	20.7	5.1	0.34	11.0	2.6	7.2	41.4
Rural	00	2924	28.0	3.1	0.22	28.9	8.5	21.8	41.2

⁶³ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future. P269.

図表 19 階層別消費格差の比較⁶⁴ (再掲)

Table 4: Indices of Inequality for Consumption, by Urban and Rural Areas (2005-2008)

	Lower Half of the Distribution		Upper Half of the Distribution		Tails	Gini
	p25/p10	p50/p25	p75/p50	p90/p50	p90/p10	
Total						
2005	1.26	1.33	1.36	1.95	3.27	28.67
2008	1.32	1.33	1.38	1.98	3.48	30.46
Urban						
2005	1.33	1.41	1.38	2.04	3.84	30.23
2008	1.33	1.37	1.42	2.13	3.87	32.34
Rural						
2005	1.23	1.27	1.26	1.56	2.42	20.43
2008	1.29	1.31	1.28	1.59	2.68	21.99

Source: own estimates based on panel HIECPS survey 2005-2008.

2. 年齢別に見た特徴

MoEd および世銀による 2007 年の Poverty assessment update 報告書において、各年齢層と貧困の関係について見ると、農村に住む若年層が貧困のリスクをより多く抱えていることが分かる。2005 年には 21%の子供（15 歳以下）が貧困下にあった。年齢階層別では、10-14 歳、15-19 歳の世代で貧困リスクが高く（全国平均で約 26%）、20 代から 30 代の若い労働世代の間では比較的貧困リスクは低かった。貧困リスクは、各地域で異なるものの、都市、農村ともに年齢階層別で見ると傾向はほぼ同じであった。そのうち、全地域の全世代の中で最も貧困リスクが高いのが、上エジプト地域の農村における若年層である⁶⁵。

2010 年の UNDP の報告書によると、15 歳以下の子供は、エジプト人口の 3 分の 1 を占め、うち 5 分の 1 が貧困である。また、世帯の裕福さと子供のはく奪状況には相関関係がある。住居 (shelter)、食料、教育、情報、健康、衛生、水の全ての項目について、貧しい世帯ほど、子供のはく奪状況が大きくなっている⁶⁶。

同報告書は、セクターや地域にまたがって取り組むべき問題や課題について分析を行っているが、子供に対する投資がエジプトの発展を支える上で必要であると指摘している。持続可能な貧困削減及び子供に資する成長を達成するには、国家の能力向上のみならず、社会インフラの発展に取り組む必要がある。国家予算に占める子供の発展に割り当てられた予算は絶対額で増加しているものの、相対的な重要性は低下している。子供対策及び子供の権利達成は、公共政策によって強く影響を受けるが、子供の生活の質が国の将来を決

⁶⁴ WB (2011), Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor? from static to dynamic poverty profile, p. 12.

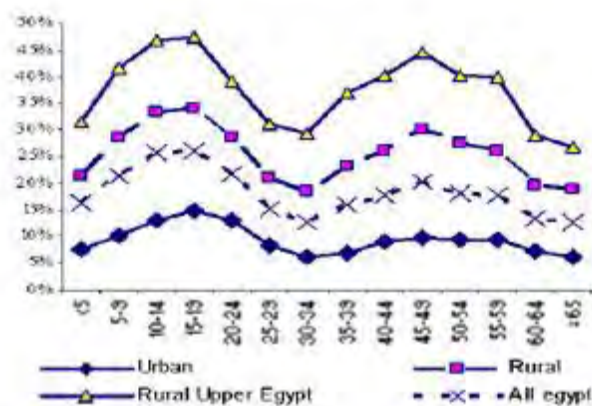
⁶⁵ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 31.

⁶⁶ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, pp.60-61.

定する⁶⁷問題であるため、優先的な取り組みを必要とする。

図表 20 地域別各年齢階層の貧困リスク⁶⁸

Figure 2.5: Poverty Risk over the Life Cycle, by Region, 2005



Source: CAPMAS, 2005 HIECSs, Staff calculations.

図表 21 裕福さと子供のはく奪状況との関係⁶⁹

TABLE II.4A: PERCENT OF CHILDREN EXPERIENCING TYPE OF DEPRIVATION, BY WEALTH QUINTILE, 2008								
Wealth Index Quintiles	Shelter	Shelter	Food	Education	Info.	Health	Sanitation	Water
Total	14.8	2.20	17.0	3.21	2.41	2.4	4.15	2.84
Quintile 1 (poorest)	50.10	6.80	16.3	9.08	10.20	3.6	8.29	7.21
Quintile 2	14.29	2.17	17.4	2.95	0.18	2.5	4.52	3.47
Quintile 3	2.54	0.57	16.0	1.13	0.04	2.0	4.29	1.97
Quintile 4	0.54	0.40	17.9	0.55	-	1.9	2.34	0.47
Quintile 5 (richest)	0.03	0.03	17.6	0.81	-	1.8	0.32	0.17

UNICEF and Cairo University. (2010). *Child Poverty and Disparities in Egypt: Building the Social Infrastructure for Egypt's Future*

3. 男女世帯主別に見た特徴⁷⁰

エジプトでは女性が世帯主である世帯 (Female Household: FHH) の構成人数は、全人口の 10.5% を占める。FHH それ自体は、エジプトにおける貧困層の 7.5% と、全体の 1 割にも

⁶⁷ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 60. 同書は、貧困層および子供の利益になるような成長を維持するには、国民の能力の向上だけでなく、社会インフラの整備に取り組むことが必要であると指摘している。また、子供の貧困は多次元にわたることから、子供の貧困解消には世帯構造、労働市場の状況、政府の支援等の様々な側面から取り組む必要があるとしている。

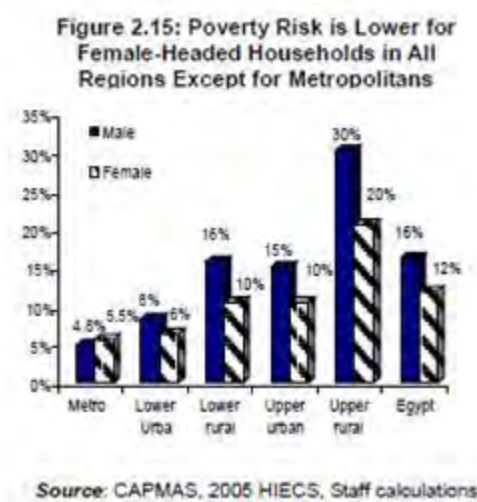
⁶⁸ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 31.

⁶⁹ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p.61.

⁷⁰ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 40.

満たないものの、世帯構成と貧困の相関を考察する上で無視できない要素である。下の図からも明らかなように、大都市を除き男性が世帯主である世帯(MHH)よりも FHH の方が貧困率は低くなっており、FHH の方が MHH よりも貧困になりやすいという議論とは反対の結果となっている。こうした傾向は、多くの国で確認されており、決して珍しい傾向ではない。しかし、エジプト特有の要素としては、(1) 文化的傾向として、仮に男性が一家の稼ぎ手ないし大黒柱ではない場合でも、実際の女性世帯主以外の男性を世帯主として報告すること、(2) FHH の 70%は未亡人による世帯構成であるが、こうした人々は高齢で且つ資産を自由に扱える立場であることが挙げられる。3人以上の子供を抱える FHH は、都市及び農村のいずれにおいても貧困に陥りやすいとされるが、この点については世帯主の男女の区別なく、大半の世帯に共通して言えることである。

図表 22 男性・女性世帯別貧困リスク⁷¹



4. 産業構造から見た特徴⁷²

GDP で見るエジプトの経済構造は、サービス産業が経済の中心である。サービス産業は、2000-05年に年平均4.3%成長を達成したが、特に牽引役となったのは、観光、運輸、通信分野である。1990年代初期以降、サービス産業のGDPに占める割合は50%を超え、経済成長と共に徐々にその割合を広げている。サービス産業の成長により、貧困層が被雇用者となっている様々な産業にも乗数効果が及んだ可能性がある。

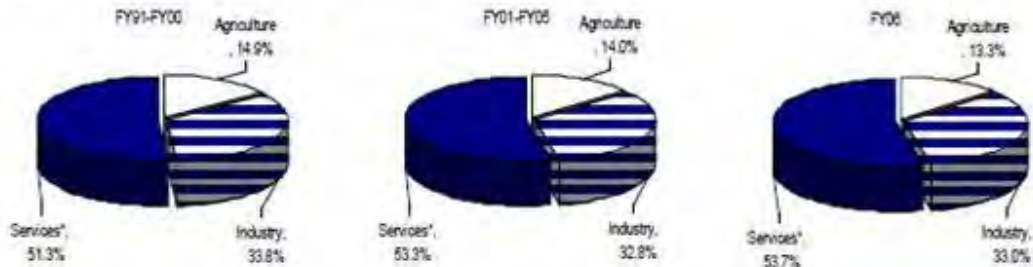
2006年度には、サービス産業の割合が更に高まり、反対に農業の割合が減っている。サービス産業の成長と農業部門の低迷が貧困に与える影響は明らかではない。都市に住む貧困層は好調な経済セクターの恩恵を受けることができるかもしれないが、経済成長の波及効果が農村の貧困層にまで届くにはかなり長い時間を要する。

⁷¹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 40.

⁷² MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, pp. 53-54.

図表 23 セクター別 GDP 構成⁷³

Figure 3.7: The Sectoral Composition of GDP



Source: Ministry of Economic Development, Staff calculations.

5. 雇用と貧困

人々の収入源の内訳を見ると、労働から得られる所得が主要な収入源であり、これに社会保障等の現金給付、農作物栽培による収入、不動産収入等が続く。労働は貧困層にとって唯一の価値のある資産である。エジプトでは、貧困であるほど労働による賃金や自営業による収入を含む労働から得られる収入に依存しており、富裕層ほど収入源が分散していることが分かる（図表 24 参照）。

図表 24 貧困状況別所得構成⁷⁴

Table 2.5: Income Structure by Poverty Status, 2000-2005 (Percent)

	Wages And Salaries-Total	Farm Income	Non Farm Self-Empl. Income	Income From Real Estate And Fin Assets	Income From Transfers	Total Net Income
<i>2000</i>						
Extreme poor	49	21	14	6	11	100
Poor	43	27	12	6	11	100
Near Poor	43	24	14	8	11	100
Better Off	34	10	19	13	23	100
Total	36	12	18	13	21	100
<i>2005</i>						
Extreme poor	47	22	10	9	12	100
Poor	44	24	11	10	11	100
Near Poor	43	23	12	10	11	100
Better Off	38	10	17	14	22	100
Total	39	12	16	13	20	100

Source: CAPMAS, 2005 HIECS, Staff calculations.

2000-2005 年間に平均失業率は改善したものの、貧困層の失業率は悪化している。

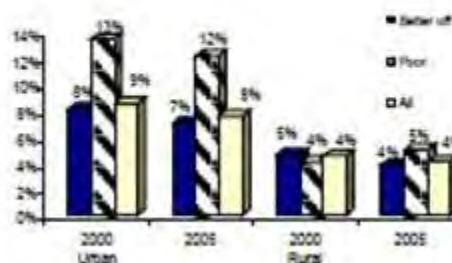
⁷³ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 54.

⁷⁴ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 36.

世帯の所得、消費及び支出に関する調査によると、失業率は 1996 年の 7.8%から、2000 年に 6.1%、2005 年に 5.5%と低下した。地域別で見ても失業率は一様に低下していたが、貧困層の失業率は上エジプト地域の都市部をのぞき全ての地域で悪化している。結果として、2005 年の貧困層の失業率は 6.4%と、非貧困層の 5%より高い水準となった。特に大都市地域では、貧困層の失業率は非貧困層の失業率の 2.2 倍に達している⁷⁵。

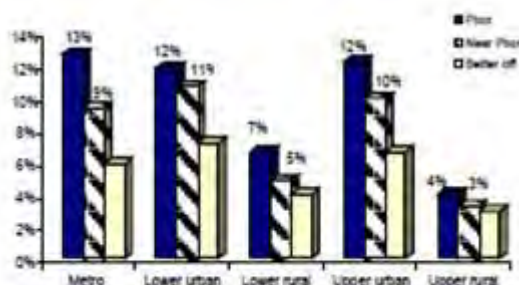
図表 25 貧困状況別失業率（都市部および地方）⁷⁶

Figure 2.11: Unemployment Rates by Poverty and Location 2000-2005



図表 26 貧困状況別失業率（地域別）⁷⁷

Figure 2.12: Unemployment Rate by Poverty Status and Region 2005



⁷⁵ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 38.

⁷⁶ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 38.

⁷⁷ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 38.

図表 27 性別・居住地・教育等各要素に基づく地域別失業率（2007年）⁷⁸

	Unemployment rate (%)		Unemployment rate (%)		Unemployment rate by education (15+ %)			Future labor force Replacement ratio
	Total	Female	Urban	Rural	* Below Secondary	Secondary	**University	
	2007	2007	2007	2007	2007	2007	2007	
Cairo	11.9	22.6	11.8	00	9.7	44.2	46.1	200.2
Alexandria	12.2	17.9	12.2	00	13.5	51.6	34.9	239.9
Port Said	11.2	23.0	11.1	00	11.8	46.1	42.1	221.9
Suez	9.7	29.4	9.9	00	6.3	64.2	29.6	263.9
Urban Govs	11.8	21.3	00	00	00	00	00	00
Damietta	6.7	20.4	10.7	4.5	0.8	66.4	32.6	285.3
Dakahlia	12.0	31.7	17.8	9.6	1.1	66.5	32.5	268.5
Shrkhia	11.7	17.7	13.5	11.3	4.9	63.4	31.8	287.7
Kaljoubia	8.0	26.2	10.4	6.6	2.8	59.3	37.9	304.6
Kafr El Sheikh	10.0	20.7	16.1	8.3	0.8	68.1	31.1	253.2
Gharbia	12.0	28.0	14.3	11.0	2.5	66.2	31.3	250.3
Menoufia	6.5	13.0	10.0	5.6	3.9	63.4	42.7	259.1
Behera	6.8	13.7	11.8	5.7	1.9	76.9	21.2	236.8
Ismailia	11.1	22.6	13.2	9.2	9.5	68.7	21.8	296.7
Lower Egypt	9.6	21.0	00	00	00	00	00	00
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00
Giza	6.7	13.9	8.3	4.1	9.7	55.9	34.5	139.5
Beni Suef	3.5	4.8	11.4	1.4	0.7	68.7	30.6	297.2
Fayoum	2.9	8.0	5.4	2.2	1.6	72.9	25.5	307.7
Meria	5.5	9.0	10.4	4.4	1.9	66.8	31.3	308.1
Assiut	8.3	20.7	13.6	6.1	2.0	71.0	27.1	386.7
Suhag	9.4	21.7	14.3	7.9	0.6	71.6	27.8	396.3
Qena	7.5	18.8	11.7	6.1	0.3	73.4	26.3	378.8
Luxor	17.2	35.5	21.5	11.8	0.0	76.1	23.9	300.3
Aswan	12.9	34.5	11.4	14.1	3.1	85.7	11.2	307.6
Upper Egypt	6.8	13.8	00	00	00	00	00	00
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00
Red sea	2.0	16.1	2	0.0	0.0	100.0	0.0	245.3
New valley	13.3	28.5	16.9	10.0	2.8	77.4	19.8	222.4
Matrouh	3.6	8.2	0	10.6	14.2	80.0	5.7	374.3
North Sinai	3.8	13.3	5.7	0.0	0.0	54.1	45.9	406.3
South Sinai	7.8	20.0	9.5	5.6	4.0	90.7	5.3	144.1
Frontier Govs	5.7	19.0	00	00	00	00	00	00
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00
EGYPT	8.9	18.6	11.7	7.0	4.8	62.4	32.8	289.0
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00

雇用別で見ると、農村の賃金労働者、とりわけ上エジプト地域に住む人々が最も貧困に苦しんでいることが分かる（図表 28 参照）。賃金労働者、雇用者、自営業者、無給労働者、様々な雇用形態があるものの、全ての雇用形態について、貧困率は都市よりも農村において高い。農村の中でも上エジプト地域で働く賃金労働者は、地域、雇用形態、何れをとっても最も貧困リスクが高い（42%）⁷⁹。

貧困層の世帯構成員が生計活動に参加できていないことが、貧困層が貧困から脱却で

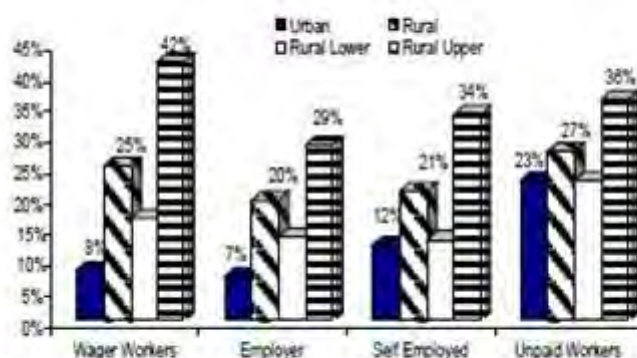
⁷⁸ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p.268.

⁷⁹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 70.

きない要因となっている。貧困層の労働参加率は45%で、非貧困層の47.6%に比べ僅かに低い値である。貧困層の労働参加率が非貧困層と比べて低い傾向は、地域に関係なく共通したものとなっているが、その差異は農村（貧困層46.5%、非貧困層54%）の方が都市（貧困層39.6%、非貧困層42.2%）よりも大きい⁸⁰。

図表 28 雇用形態別貧困率⁸¹

Figure 4.3: Poverty Incidence by Type of Employment, 2005 (%)



Source: ERF, ELMPS 06.

6. 教育と雇用

2005年に貧困層の80%（全エジプト人口の16%）は、基礎的な教育ないしそれ以下の教育しか受けておらず、大学教育を受けたのは僅か3.4%に過ぎない。2000年時点と比較すると、貧困層に占める低学歴の割合は若干改善されているが、所得階層の間の学歴差は依然として非常に大きい。また、教育格差は農村よりも都市において顕著であり、都市における貧困層と富裕層の間の教育格差が一番大きい（図表 29 および図表 30 参照）⁸²。

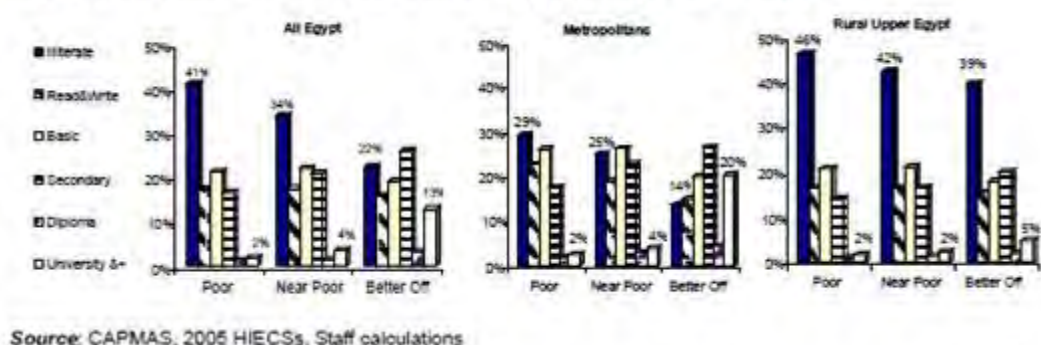
⁸⁰ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 38.

⁸¹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 70.

⁸² MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 33.

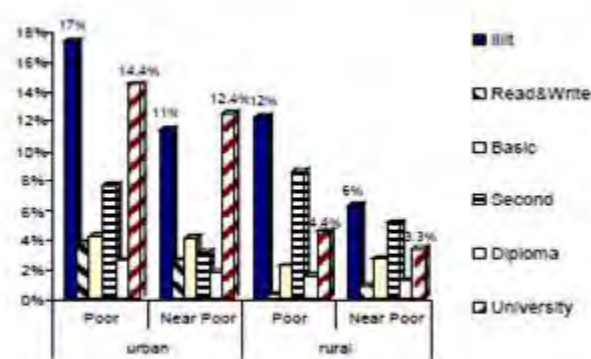
図表 29 貧困状況別教育水準⁸³

Figure 2.7 Individual Educational Profile by Poverty Status, 2005



図表 30 貧困層および富裕層との教育格差（都市部と地方別）⁸⁴

Figure 2.8: Educational Gaps with the Better-Off, 2005



7. 宗教と貧困

カイロには、Zabbaleen⁸⁵と称されるコミュニティが存在する。Zabbaleen は、廃棄物回収、分別、再利用を生業とし、伝統的にカイロの廃棄物処理に重要な役割を果たしてきた。Zabbaleen は、上エジプト地域に住む土地を持たない農業従事者であったコプト教⁸⁶の人々が 1930 年頃カイロのインババという地区に不法に居住を開始したことに端を発する。1981 年に Zabbaleen を対象とした環境・開発プログラム⁸⁷が開始されるまで、Zabbaleen

⁸³ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 33.

⁸⁴ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 33.

⁸⁵ Zabbaleen とはエジプト方言のアラビア語で“ゴミの人々”を意味する。

⁸⁶ エジプトで発展したキリスト教の一宗派。

⁸⁷ “Zabbaleen Environment & Development Program”が世銀等の支援によって実施され、Zabbaleen が後に拠点を移したモカッタム地区の基本インフラ及び施設の改修が実施された。

は、極めて劣悪な環境及び衛生状態の下で貧しい生活を強いられた。当時、廃棄物回収等にかかるサービスは、政府や一般市民にその重要性が認識されていなかった⁸⁸。

Zabbaleen は、エジプト全体における宗教と貧困の相関を示すものではなく、寧ろ特殊なケースであると思われる。エジプトにおいて宗教対立は伝統的に存在しているものの、宗教対立が貧困に影響を及ぼす可能性を捉えることは難しい。しかし、この事例は、宗教的出自によって職業選択の幅が制限されていることを示すものとして重要である。

⁸⁸ Neamatalla, Mounir (1998), Zabbaleen Environment & Development Program, Cairo, Egypt, p. 4.

VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因

1. 所得分配

(1) 経済成長に伴う所得格差の拡大

エジプトでは、1990年代の世界・地域経済の低迷、2001年の9.11事件及び2003年のイラク戦争による外的ショックの影響から、2000年代前半は経済が低迷していた。国内も外貨不足やビジネス環境の不整備によって経済成長率は2-3%台と、急増する労働力人口の吸収に十分な雇用を生み出すために必要とされる成長率の半分程度にとどまっていた。しかし、2004年に就任したナズィーフ首相を中心とする内閣が経済改革を実施した結果、2004年には成長率が4.4%を記録し、その後2008年には7.2%となった⁸⁹。

新内閣による経済改革が経済成長をもたらす一方、市民の間の経済格差は拡大し、ジニ係数が上昇した。経済格差拡大の背景には、都市部における所得の分配が不平等であったこと、成長スピードの速かった都市部と農村との間で地域間格差が広がったことが挙げられる⁹⁰。

(2) 人口の多くを占める農村の貧困

貧困層の生計手段として重要な役割を担う農業は、過去10年間低成長にとどまっている。農業は、労働力の4分の1以上を支えることに加え、社会サービス部門に次ぐ二番目に大きな雇用の受け皿となっている。しかし、生産性が低いため、特に農村の貧困層にとって、農業は収入源としての役割をほとんど果たしていない。農村に住む貧困層の所得の4分の1が農業所得であるのに対し、支出の50%以上が食費に費やされている⁹¹ことから、農業所得が家計を支えきれない実態が窺える。

また、エジプトには地域的に大きな格差が存在する。エジプトにおける若年層調査 (Survey of Young People in Egypt) によると、農村に住む若者はエジプトの若年層の59%を占め、貧困に苦しむ若年層の85%は農村に住んでいる。このように貧困は農村において顕著であり、彼らは公共財やサービスへのアクセス機会が制限されている。貧困は、教育や技能の不足、人間らしいきちんとした仕事の欠如といった問題と密接に結びついている。そのため、貧困世帯を地域的に絞り込み、On-the-job training、読み書き教育、所得創出を提供する必要がある。そのためには、1000の村モデルといったイニシアティブを活用し、各コミュニティのニーズに応じて雇用創出につながるスキームと統合させることで貧困解消に必要な施策を実施していくことが重要である⁹²。

(3) 投資誘致と産業構造、国内雇用への変化

2004年以降の経済改革を通じた投資環境の改善によって、対エジプト向け外国直接投

⁸⁹ UN Egypt (2005), UN Common Country Assessment, Embracing the Spirit of the Millennium Declaration, p.18

⁹⁰ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 51

⁹¹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 54.

⁹² UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 59.

資額は順調に伸びており、2003年の2.1億ユーロから2007年には84億ユーロに急増した。2008年は64億ユーロ、2009年は48億ユーロと勢いが減少したものの、2003年と比べて20倍以上の伸びとなっている⁹³。国連貿易開発会議（UNCTAD）の2007年世界投資報告書（WIR）によると、エジプトは2006年にアフリカ諸国の中で最大の対内直接投資受入国となった⁹⁴。

欧州や湾岸諸国からの対エジプト向け外国直接投資は急増している一方で、加熱する投資に比してエジプト国内における雇用は増加していない。近年の両地域からの投資の大半は、ライセンス取得に関する入札や国営銀行の民営化に伴う株式の買収等オーナーシップの委譲による資本集約的な投資であり、必ずしもプロジェクトの新設や工場建設等雇用機会の増加をもたらす実質的な投資ではないと考えられる⁹⁵。

2. 人口学的要因：若年層の雇用問題

(1) 若年層の失業率の高さ

エジプトでは若年層の人口が他の年齢層と比べて多く、2006年の国勢調査では18-29歳の人口が総人口の25%を占めている。若年層が多いことによって、高齢者及び子供といった非労働世代人口との割合で労働世代が増え、経済依存度が低下するという利点がある一方で、人口規模が大きいことで教育制度や労働市場等に過度な圧力をかけるという弊害もある。教育や労働政策の失敗によって多くの若年層が社会的・経済的に阻害されると、彼らはグローバル経済における競争力も持っていないため、彼らの存在は社会的に利益というよりもむしろ重荷となってしまふ⁹⁶。

2009年における18-29歳人口の失業率は16.7%である。失業率は女性の間で高く、男性の12%に対し、32%に達する。全体で見ると、失業率は1998年の25.6%から2006年には16.9%と低下したが、2009年の失業率は2006年と比べて殆ど変化が見られない。なお、エジプトでは18-29歳人口のうち、58.5%は労働市場から撤退している。こうした人々は仕事に就かず、仕事への関心もなく、働く意思を有していないことを表すが、女性の割合は83%と男性の3倍以上となっている⁹⁷。

⁹³ 欧州委員会ウェブサイト参照。

<http://ec.europa.eu/trade/creating-opportunities/bilateral-relations/countries/egypt/> (2011年12月15日アクセス)

⁹⁴ UNCTAD (2007), World Investment Report 2007, p. 36. 同報告書では、世界的に投資の大半が石油や天然ガス等の採掘産業に向かった一方で、エジプトでは100億米ドルを超える外国直接投資額の80%が農業、製造業、金融、観光といった非石油部門に向かったと説明している。

⁹⁵ Massoud, Nada (2008), Assessing the Employment Effect of FDI Inflows to Egypt: Does the Mode of Entry Matter?

⁹⁶ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, pp. 35-36.

⁹⁷ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, pp. 38-39.

図表 31 若年層の失業率に関する諸指標⁹⁸

Table 11.7: Standard and Broad Youth Unemployment Rates by Selected Characteristics, 1998, 2006, 2009
 (ages 15-29)

	Standard			Broad		
	1998	2006	2009	1998	2006	2009
All	25.6	16.9	16.7	28.8	19.1	22.6
<u>By Sex</u>						
Males	15.9	9.7	12.4	18.4	10.6	16.1
Females	51.9	36.7	32.0	55.7	40.8	42.8
<u>By Age Group</u>						
15-19	26.3	14.6	16.7	31.2	18.4	23.3
20-24	33.6	22.8	20.6	36.9	25.6	28.0
25-29	16.5	12.8	12.9	18.0	13.6	16.7
<u>By Sex & Age Group</u>						
Males 15-19	17.9	10.2	16.4	21.4	12.2	21.4
Females 15-19	54.7	27.0	19.0	61.0	34.7	33.3
Males 20-24	19.9	14.3	15.0	22.7	15.3	19.7
Females 20-24	61.6	42.6	38.2	64.6	47.4	50.1
Males 25-29	10.7	5.9	7.5	12.0	6.3	9.3
Females 25-29	35.3	34.4	30.2	37.3	36.0	38.3
<u>By Residency</u>						
Urban	26.6	21.5	17.9	30.2	24.2	23.0
Rural	25.0	13.9	15.8	27.9	15.5	22.2
<u>By Household Wealth Quintile</u>						
Lowest	17.5	9.5	12.5	22.4	11.7	19.8
Second	26.3	13.3	15.2	29.7	15.6	21.5
Middle	25.9	18.3	16.5	28.2	20.3	22.0
Fourth	28.8	21.6	20.4	31.8	23.9	25.9
Highest	29.5	24.8	18.6	32.2	26.6	23.6

Source: ELMS 1998, ELMPS 2006 and STPE 2009.

(2) 労働市場のミスマッチと若年層の雇用の受け皿づくり

エジプト人労働者は、市場が求める人材要件を全て満たしているわけではなく、このことが民間セクターの成長、競争力強化を妨げている。教育と労働市場のニーズの間にミスマッチがあるため、大学で教育を受けた若者の失業率が高い水準にある。人材育成に必要な職業教育・訓練についても、質の低さから、技術的な職業訓練・教育を受けた人材は低い就職率にとどまっている。大半の職業訓練校は、市場のニーズに対応しておらず (supply-driven)、明確な教育綱領及び訓練方法の基準が欠落しており、技術の発展に合致しない旧式の機材を使用している⁹⁹。

2006年の調査では、15-64歳の生産年齢人口のうち、大卒者の失業者の割合は、男性が12%、女性が30%となっている。しかし、若年層(15歳から29歳)に限定すると、大卒者の失業者の割合は、男性で25%、女性で45%に達する¹⁰⁰。こうした状況を受けて、若者の雇用促進のための国家計画が策定され、5年以内に同失業率を23%から15%に削減する目標が立てられた。同計画の下、毎年労働市場に参入する若年層の雇用及び失業者の一

⁹⁸ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 150.

⁹⁹ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xviii.

¹⁰⁰ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 17.

部を吸収するため、5年間で約310万人の雇用を創出する予定である¹⁰¹。計画はまだ実施されていないが(2010年現在)、労働市場へ参入する人材にとっての雇用の主な受け皿が非公式経済であることを踏まえると、エジプトの若年層の雇用問題を解決するには、単に雇用を創出するだけではなく、良質な雇用の創出が不可欠である¹⁰²。

¹⁰¹ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xviii.

¹⁰² UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xviii.

VII. エジプトの JICA 事業における優先分野のなかで貧困の視点から特に重要な事項と貧困との関連分析

1. 公共サービスの拡充・改善、社会福祉の向上

(1) 教育¹⁰³

政府は、教育を国家繁栄のための基礎と位置づけている。エジプトの教育システムは、4万3千の学校、160万人の学校関係者（教師、事務員等）、1,600万人以上の生徒を抱え、世界でも有数の規模を誇る教育制度を有する。政府は、高等教育省を中心として、2015年までに MDG を達成するために、教育水準及び教育の質の向上に向けた取り組みを実施し、実際に顕著な進展を遂げている。

他方で、女性を中心とする非識字率、増加する退学者数、大卒者の高い失業率等の課題が依然として残されている。また、男女間および家計の所得の差によって、就学率や出席率に差が生じている。The Millennium Development Goals 2010 では、まず家計の所得格差によって出席率に差が生じることが確認されている（図表 33 参照）。貧困層から最も裕福な層では、男女とも 9 割以上の出席率である一方で、最貧困層では男女とも 9 割を下回っている。また、男女間の格差で見ると、貧困層以上では男女間の出席率の差は男性のほうが 1%ほど高い程度であるが、最貧困層ではその差は 7~8%程度女性のほうが男性より低い数字となっている。以上から、出席率に関して、最貧困層は他の層よりも出席率が低いことに加え、男女間の差が大きく、女性の出席率が男性に比較して押し下げられているといえる。

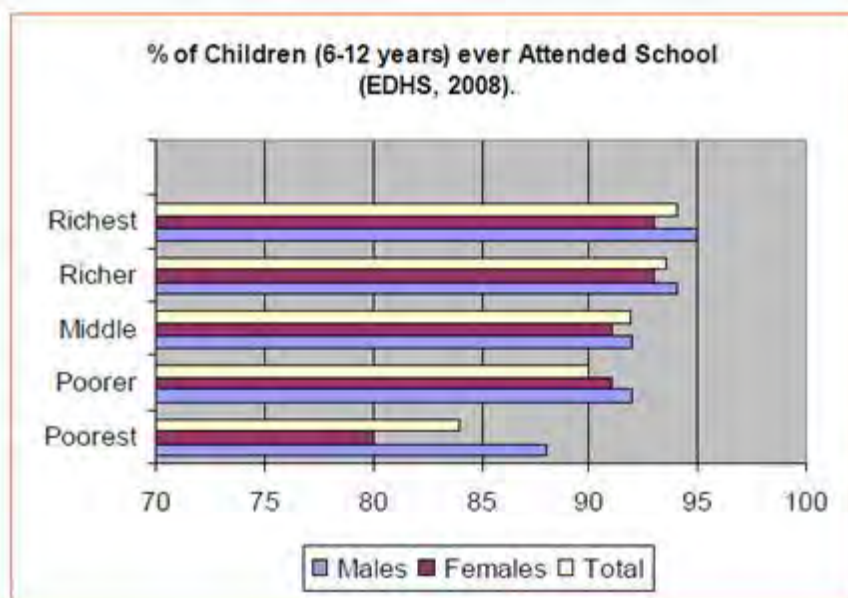
¹⁰³ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xxi, 64.

図表 32 MDG 指標（再掲）¹⁰⁴

Goal/target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
Goal 1: Eradicate extreme poverty and hunger					
Target 1: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than 1.25 dollar a day	● 1				
Target 2: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people				●	
Target 3: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer hunger			●		
Goal 2: Achieve universal primary education					
Target 4: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling		● 2			
Goal 3: Promote gender equality and empower women					
Target 5: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005, and in all levels of education no later than 2010		●			
Goal 4: Reduce child mortality					
Target 6: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate	●				

- 1 Only based on the narrow definition of proportion of people whose income is less than 1.25 dollar a day.
 2 Except for the share of women in wage employment in non agriculture sector and proportion of seats held by women in Parliament that will not be achieved by 2015.

図表 33 家計の所得と児童（6歳-12歳）の出席率の関係（2008年）¹⁰⁵



¹⁰⁴ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, p.151.

¹⁰⁵ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, p36.

図表 34 主な州別教育指標 (2007/2008 年) ¹⁰⁶

G.II EDUCATION FLOWS

	Primary intake rate (%)		Gross Primary enrollment Ratio	#Primary repeaters (% primary enrollment)	**Transition to prep. (% of primary completers)	Preparatory enrollment ratio (%)	Preparatory repeaters (% of preparatory enrollment)	Transition to secondary (% of preparatory completers)	Secondary enrollment ratio (%)	Secondary repeaters (% of secondary enrollm.)
	Total	Female								
	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08
Cairo	102.4	102.5	88.5	3.7	103.5	86.0	3.9	87.1	60.8	3.9
Alexandria	114.0	116.5	108.1	8.6	102.5	93.5	6.2	96.5	59.5	3.0
Port Said	106.2	109.0	104.8	4.0	102.1	94.2	1.9	83.0	60.5	3.3
Suez	111.6	111.0	106.9	3.5	104.5	96.0	5.6	95.7	77.2	3.0
Urban Govs	106.7	107.2	81.8	5.4	103.1	82.4	4.6	90.6	41.6	3.8
Damietta	123.3	123.7	117.3	4.1	102.5	97.4	5.6	94.7	65.0	2.5
Dakahlia	111.0	111.9	109.0	3.8	102.0	95.0	3.9	91.0	70.1	2.9
Shrkia	116.9	118.4	110.1	2.9	103.0	91.2	4.4	109.5	73.1	2.2
Kalyoubia	121.2	121.1	106.9	4.4	103.3	80.8	7.5	107.1	65.7	3.5
Kafr El Sheikh	116.0	117.3	110.9	2.3	99.1	97.3	3.0	96.9	75.0	4.5
Gharbia	110.0	110.3	107.5	4.5	104.3	94.9	5.3	93.4	71.9	2.9
Menoufia	116.5	116.3	106.1	3.7	109.6	91.0	6.3	94.3	70.7	3.6
Behera	111.6	111.9	114.2	6.1	105.6	92.0	7.3	93.0	69.9	4.9
Ismailia	124.8	125.1	111.5	2.9	102.4	88.9	7.0	105.7	70.6	3.4
Lower Egypt	115.3	115.9	94.0	4.0	103.5	85.0	5.6	98.4	48.1	3.4
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Giza	129.3	130.6	113.7	4.2	101.0	95.5	5.2	91.0	61.4	5.3
Beni Suef	105.1	106.4	103.8	6.5	104.1	82.4	8.0	102.0	55.5	3.4
Fayoum	102.3	102.1	99.7	3.5	101.7	79.1	6.1	120.9	59.3	3.7
Meria	103.6	102.4	100.9	4.8	101.8	79.0	7.6	112.9	67.2	3.8
Assiut	105.6	104.2	100.9	4.5	106.1	82.0	9.0	93.9	61.7	4.4
Suhag	111.5	110.9	103.7	4.4	106.0	86.8	7.8	101.6	81.0	4.6
Qena	108.9	107.3	103.7	1.8	103.7	95.7	5.1	90.2	77.1	5.1
Luxor	117.2	116.6	111.6	2.0	106.2	110.8	11.3	99.3	83.6	9.9
Aswan	111.3	110.9	105.8	1.1	99.8	90.7	5.0	97.1	73.8	4.6
Upper Egypt	111.0	110.7	89.3	4.1	104.0	83.6	6.8	101.0	45.8	4.6
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Red sea	114.2	115.7	106.3	5.4	109.2	82.2	5.9	107.1	87.6	3.3
New valley	86.6	83.5	105.7	2.1	90.6	91.0	2.6	93.8	94.9	1.6
Matrouh	105.2	101.2	106.5	3.4	100.2	73.4	6.9	67.8	48.6	7.1
North Sinai	117.0	117.7	100.6	2.2	100.9	81.9	2.7	77.8	78.0	10.0
South Sinai	134.8	133.7	103.8	3.6	97.4	73.7	9.2	77.6	41.7	2.6
Frontier Govs	109.7	108.4	89.1	3.2	101.3	80.9	4.8	84.8	48.0	6.0
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
EGYPT	112.1	112.3	90.0	4.3	103.4	84.0	5.9	98.8	46.1	4.0
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00

* Primary Repeaters without El-Azhar

** The Source of Data (with out El-Azhar) is Ministry of Education

¹⁰⁶ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 264.

図表 35 教育の不均衡に関する指標（地域別）（2007/08、2009 年）¹⁰⁷

G.12 EDUCATION IMBALANCES

	Primary Pupil/teacher Ratio	Preparatory Pupil/teacher Ratio	Primary Class Density	Preparatory Class Density	Secondary, Technical Enroll. (% of total sec.)	Basic and secondary enrollment in:			Percentage of units school buildings*
						Public schools (%)	Private schools (%)	El Azhar schools (%)	
	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2007/08	2009	2009
Cairo	21.4	7.3	53.1	34.0	77.7	15.7	6.6	1.39	0.93
Alexandria	25.1	6.6	37.5	33.6	66.9	9.3	3.2	0.28	0.55
Port Said	7.1	5.6	40.4	30.0	89.7	3.5	6.8	0.97	0.00
Suez	5.6	5.0	47.1	36.9	88.8	4.9	6.3	0.49	0.00
Urban Govs	18.2	7.4	40.3	37.6	81.7	12.6	5.7	00	00
Damietta	9.8	7.1	40.6	37.3	89.6	1.1	9.3	3.58	1.68
Dakahlia	16.1	13.1	41.0	40.8	66.6	0.9	12.6	1.00	1.28
Shrkia	23.7	17.7	48.0	38.5	81.6	1.8	16.6	4.34	4.04
Kalyoubia	22.4	15.5	38.7	39.1	90.8	2.7	6.4	0.75	0.43
Kafir El Sheikh	24.6	21.0	41.7	37.7	82.3	0.1	17.6	1.48	0.46
Gharbia	25.3	15.0	41.3	40.3	84.2	0.9	14.9	3.52	1.90
Menoufia	20.2	14.3	41.3	33.3	89.8	0.9	9.3	0.72	0.90
Behera	27.9	22.8	34.2	38.4	87.2	0.6	12.3	1.81	2.02
Ismailia	21.3	13.4	41.4	00	87.2	1.6	11.2	0.87	0.17
Lower Egypt	21.2	15.6	00	00	86.1	1.2	12.7	00	00
Urban	00	00	00	42.8	00	00	00	00	00
Rural	00	00	51.0	41.2	00	00	00	00	00
Giza	34.9	11.7	38.7	43.2	81.4	10.3	8.3	0.00	0.51
Beni Suef	30.4	22.6	42.9	43.6	90.2	0.9	9.0	1.42	0.83
Fayoum	30.9	22.4	44.7	41.8	91.4	1.0	7.6	0.56	0.24
Menia	36.4	18.3	44.7	41.4	92.5	0.7	6.8	2.42	0.60
Assiut	28.5	21.3	42.5	41.1	88.9	0.7	10.4	1.15	0.48
Suhag	24.5	23.1	40.9	38.9	79.8	0.4	19.8	1.32	1.32
Qena	22.6	23.9	35.7	34.9	83.9	0.1	16.0	0.88	1.43
Luxor	10.3	10.0	34.1	41.8	81.4	0.2	18.5	0.91	2.73
Aswan	18.6	16.3	43.5	00	90.8	0.0	9.2	1.32	4.22
Upper Egypt	28.0	17.8	00	00	86.3	2.5	11.2	00	00
Urban	00	00	00	27.8	00	00	00	00	00
Rural	00	00	34.0	19.0	00	00	00	00	00
Red sea	3.4	2.4	19.5	32.2	90.6	2.1	7.3	0.0	0.67
New valley	3.2	2.8	29.4	27.0	91.4	0.0	8.8	1.38	1.38
Matrouh	17.9	13.9	26.7	15.7	92.0	0.7	7.3	0.00	5.03
North Sinai	14.4	11.0	16.7	25.3	90.6	0.6	8.8	0.64	3.53
South Sinai	4.9	3.1	26.0	00	78.5	1.8	19.7	0.00	1.46
Frontier Govs	6.7	4.9	00	00	90.4	0.9	8.8	00	00
Urban	00	00	00	39.3	00	00	00	00	00
Rural	00	00	42.5	00	00	00	00	00	00
EGYPT	22.0	13.4	00	00 40.7	85.6	3.4	11.0	1.33	1.51
Urban	00	00	00 36.7	44.6	00	00	00	00	00
Rural	00	00 45.6	42.6	56.2	00	00	00	00	00

* Without governorates of Helwan (0.23% - 1.15%) & 6 October (0.48% - 1.5%)

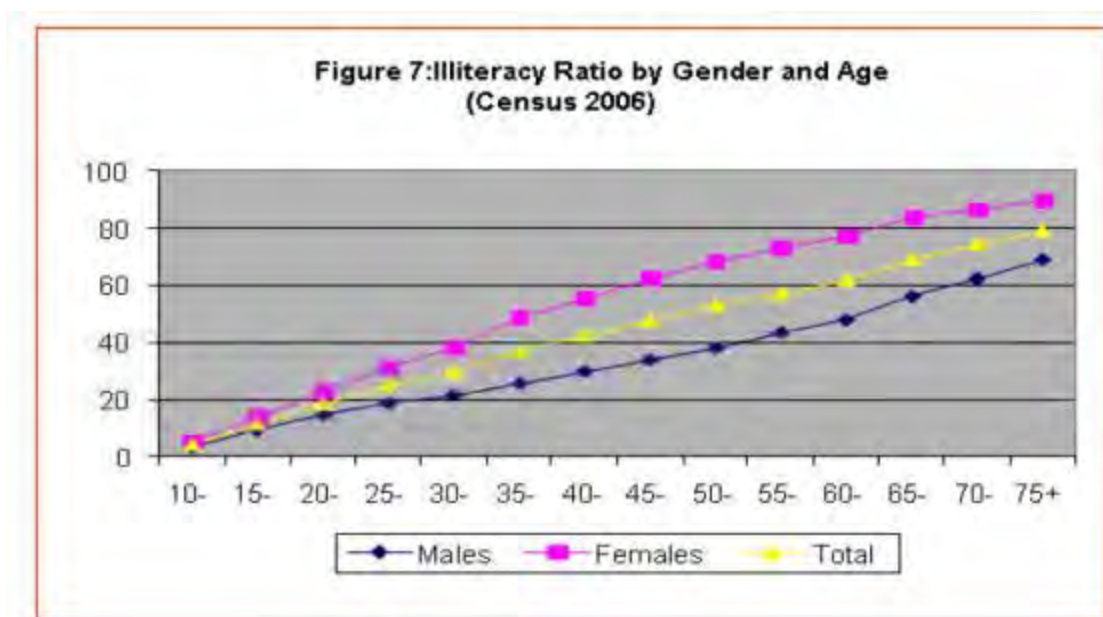
¹⁰⁷ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 265.

非識字率の高さは重要な問題である。中央統計局（CAPMAS）が2006年に実施した国勢調査では、非識字者の数は1,680万人（成人人口の約3分の1）に達し、一貫して高い数字で推移している。また、非識字率については、世代間および男女間で差が見られること、また地域間でも差があることが下記の図より読み取れる。2006年の国勢調査によれば、10歳から15歳までの非識字率は20%を切り、男女間格差も小さい。しかし、年齢が上になるに従い、非識字率が上昇するとともに男女間格差も開いていく。75歳以上になると、非識字率は約80%に達し、女性の非識字率は約90%、男性の非識字率は約70%と、両者の間は20ポイント近い差が生じている。

また、地域間格差に目を向けると、バニ・スエフやファイユム（Fayoum）、アシュート、ミア、ソハーグ等の統治地区の非識字率は20%を超えているが、南シナイや紅海（Red Sea）等の地域は5%を切っている。2009年の貧困マップと照らし合わせると、一概には言えないものの、最貧困村を多く抱える地域において、非識字率が高い傾向が読み取れる。

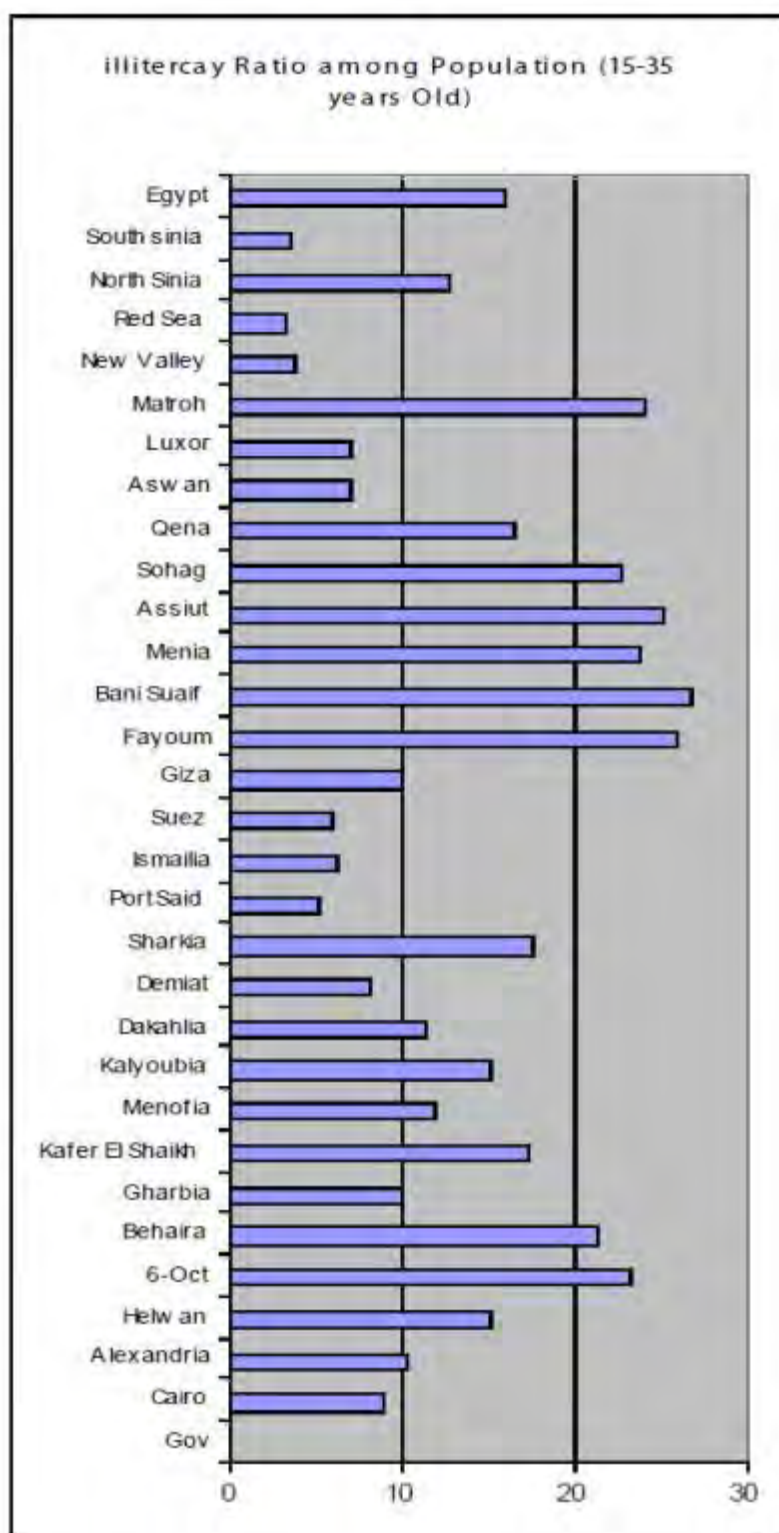
こうした問題に対し、政府は、大学前教育改革として、教育評価基準の策定、教師向け職業アカデミーの設立、包括的な戦略計画を策定し、改革に取り組もうとしているほか、中央から地方により多くの権限を付与することで、教育水準確保に取り組もうとしている。

図表 36 ジェンダー間および世代間の非識字率格差（2006年）¹⁰⁸



¹⁰⁸ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, p.31.

図表 37 地域間の非識字率の分布 (2006 年)¹⁰⁹



¹⁰⁹ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, p.37.

(2) 保健¹¹⁰

エジプトは、幼児死亡率低下において目覚ましい発展を遂げ、1967年の1,000人あたり240人から、2008年には28人となった。妊産婦死亡率についても、1992年の10万出産あたり174人から、2000年には84人、2008年には55人と減少し、この状況が続けばMDG達成が見込まれる。しかし、地域格差は依然として大きく、医学的専門知識を持った人の支援を得て出産した女性の割合が都市部の90%に対し、農村では72%となっている。保健省は、1990年代中期に発足した保健部門改革プログラムで採用された政策の支援及び同省の監督機能を強化する再構築プロセスを実施している。保健分野の改革プロセスは、保健サービスの質に関する基準の設定、保健従事者の能力向上、保健情報システムの改善、地方への自主権の付与等に供する結果となった。今後の課題としては、現在一部の県に限られている同プログラムの全国的な普及が必要とされる。

乳児死亡率、5歳未満死亡率の所得別5階層間の差は明らかである。5歳以下死亡率は最貧困階層において非常に高く、裕福な子供の倍である。一方、2005年から2008年の経年変化ではすべての所得階層において著しい減少がみられたが、この傾向は最貧困層において最も高かった。

図表 38 MDG 指標（再掲）¹¹¹

Goal/target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off-track	Insufficient information
Goal 1: Eradicate extreme poverty and hunger					
Target 1: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people whose income is less than 1.25 dollars a day					
Target 2: Achieve full and productive employment and decent work for all, including women and young people					
Target 3: Halve, between 1990 and 2015, the proportion of people who suffer hunger					
Goal 2: Achieve universal primary education					
Target 4: Ensure that, by 2015, children everywhere, boys and girls alike, will be able to complete a full course of primary schooling					
Goal 3: Promote gender equality and empower women					
Target 5: Eliminate gender disparity in primary and secondary education, preferably by 2005 and in all in all levels of education no later than 2010					
Goal 4: Reduce child mortality					
Target 6: Reduce by two-thirds, between 1990 and 2015, the under-five mortality rate					

¹ Only based on the narrow definition of proportion of people whose income is less than 1.25 dollar a day.

² Except for the share of women in wage employment in non-agricultural sector and proportion of seats held by women in Parliament that will not be achieved by 2015.

¹¹⁰ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. xxii, 8, 74.

¹¹¹ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, pp.151-154.

Goal target	Track status				
	Achieved	Very likely to be achieved on track	Possible to achieve if some changes are made	Off track	Insufficient information
Goal 5: Improve maternal health					
Target 7: Reduce by three quarters, between 1990 and 2015, the maternal mortality rate		●	3		
Target 8: Achieve, by 2015, universal access to reproductive health				●	
Goal 6: Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases					
Target 9: Have halted by 2015 and begin to reverse the spread of HIV/AIDS					●
Target 10: Achieve, by 2010, universal access to treatment for HIV/AIDS for all those who need it				●	
Target 11: Have halted by 2015 and begun to reverse the incidence of malaria and other major diseases		●	4		
Goal 7: Ensure environmental sustainability					
Target 12: Integrate the principles of sustainable development into country policies and programmes and reverse the loss of environmental resources		●			
Target 13: Reduce biodiversity loss, achieving, by 2010, a significant reduction in the rate of loss		●			

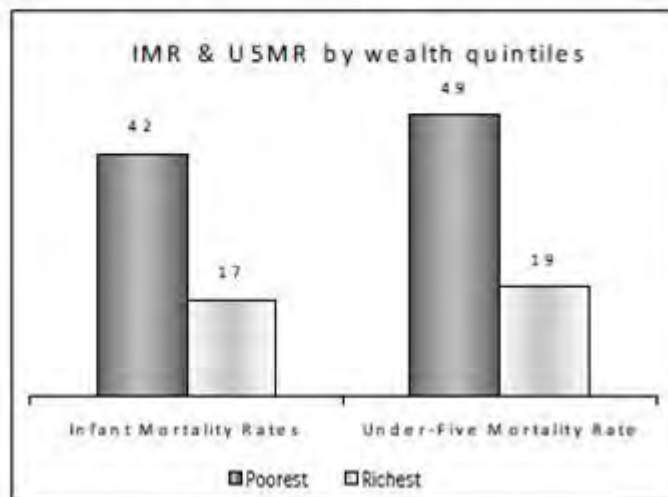
3 Depending on national estimates that would be validated.

4 Shistosomiasis is very likely to be achieved, tuberculosis possible but viral hepatitis is unlikely to be achieved.

図表 39 最貧困層と最富裕層の乳児死亡率・5歳未満死亡率の格差（2008年）¹¹²

The U5MR in EDHS 2008 is 49 deaths

Figure 16



¹¹² UNDP Egypt (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving. p. 41.

貧困層への質の高い保健サービスの提供は保健分野の重要な課題の一つである。貧困と健康は相互に関連しており、貧困家庭は栄養不良、劣悪な環境への暴露、低いサービスの利用と関連しており、結果として高い乳幼児死亡率は上エジプトの村落など貧しい地域、また最貧困階層世帯に見受けられる¹¹³。

¹¹³ UNDP (2010), The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving, pp65-66.

図表 40 妊産婦および子供の保健に関する指標（2008年）¹¹⁴

G.9 CHILD SURVIVAL AND DEVELOPMENT

	Pregnant women with prenatal care (%)	Maternal mortality rate (per 100000 live births)	Infant mortality rate (per 1000 live births)*		Under five mortality rate (per 1000 live births)*		Children ever breastfed (%)	Births attended by health personnel (%)	Children** 12-23 month, fully immunized (%)	Under weight (below age 5) (%)
			Registered	Adjusted	Registered	Adjusted				
			2008	2008	1961	2008				
Cairo	00	53.0	151.0	29.5	24.0	35.5	00	00	00	00
Alexandria	00	70.0	139.0	19.7	216.0	24.2	00	00	00	00
Port Said	00	42.0	100.0	23.4	147.0	25.8	00	00	00	00
Suez	00	56.0	163.0	14.7	236.0	17.4	00	00	00	00
Urban Govs	89.2	00	147.0	19.5	231.0	23.6	95.2	89.4	94.3	5.9
Damietta	00	59.0	82.0	11.8	136.0	14.4	00	00	00	00
Dakahlia	00	60.0	71.0	12.4	179.0	16.6	00	00	00	00
Shrkia	00	49.0	72.0	14.8	159.0	19.7	00	00	00	00
Kalyoubia	00	41.0	133.0	12.0	297.0	15.5	00	00	00	00
Kafr El Sheikh	00	36.0	60.0	10.7	125.0	14.2	00	00	00	00
Gharbia	00	44.0	107.0	12.6	215.0	14.3	00	00	00	00
Menoufia	00	45.0	130.0	13.0	275.0	17.3	00	00	00	00
Behera	00	30.0	77.0	10.6	150.0	15.3	00	00	00	00
Ismailia	00	62.0	99.0	15.5	161.0	20.7	00	00	00	00
Lower Egypt	75.0	00	93.0	12.6	194.0	13.7	96.1	78.1	93.7	5.5
Urban	82.8	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	72.8	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Giza	00	45.0	126.0	12.9	254.0	16.2	00	00	00	00
Beni Suef	00	65.0	106.0	25.5	196.0	30.5	00	00	00	00
Fayoum	00	43.0	151.0	17.3	290.0	22.0	00	00	00	00
Menia	00	64.0	108.0	24.0	213.0	30.3	00	00	00	00
Assiut	00	93.0	107.0	35.2	207.0	43.5	00	00	00	00
Suhag	00	48.0	86.0	22.8	173.0	28.9	00	00	00	00
Qena	00	65.0	*80	20.6	*154	25.9	00	00	00	00
Luxor	00	93.0	00	22.3	00	28.9	00	00	00	00
Aswan	00	45.0	109.0	20.6	191.0	14.8	00	00	00	00
Upper Egypt	65.9	00	102.0	24.5	199.0	29.9	95.6	57.5	86.4	6.7
Urban	81.8	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	59.9	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Red sea	00	14.0	191.0	13.2	266.0	16.6	00	00	00	00
New valley	00	19.0	181.0	12.6	334.0	17.2	00	00	00	00
Matrouh	00	50.0	96.0	11.0	176.0	14.2	00	00	00	00
North Sinai	00	67.0	94.0	21.3	136.0	26.8	00	00	00	00
South Sinai	00	0.0	00	14.7	00	22.5	00	00	00	00
Frontier Govs	71.0	00	124.0	14.7	210.0	19.0	95.7	72.9	86.2	4.2
Urban	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
Rural	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
EGYPT	73.6	55.0	108.0	18.0	204.0	22.8	95.8	71.7	91.7	6.0
Urban	85.0	00	00	00	00	00	95.2	85.5	93.7	6.0
Rural	66.9	00	00	00	00	00	96.1	63.6	90.5	6.0

* Calculated for urban govts without governorates of Cairo, and for Lower Egypt, govts without governorates of Qalubia and for Upper Egypt govts without governorates of Giza.

** A child is considered to be fully immunized if the child has received BCG, a measles or MMR vaccination, three DPT vaccinations, and three oral vaccinations.

¹¹⁴ UNDP Egypt (2010), Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future, p. 246-7.

図表 41 保健に関する主要指標（地域別）（2008 年）

G.10 HEALTH PROFILE

	Households with access to:		*Doctors Per 10000 People MOH	*Nurses per 10000 people MOH	Nurse/Doctors* ratio MOH	Maternal mortality rate (per 1000000 live births)	Beds per* 10000 people		Health units per 100000 Population
	Piped Water (%)	Sanitation (%)					Total	MOH	
	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008
Cairo	00	00	5.0	4.4	88.2	53.0	37.4	8.6	5.0
Alexandria	00	00	13.1	13.4	101.9	70.0	30.0	8.5	3.4
Port Said	00	00	13.5	25.0	185.6	42.0	29.4	15.8	4.8
Suez	00	00	10.4	21.9	209.6	56.0	27.4	14.6	4.7
Urban Govs	99.9	98.8	12.9	15.5	120.1	0.0	29.8	9.9	3.6
Damietta	00	00	13.1	43.2	331.1	59.0	23.2	16.9	3.3
Dakahlia	00	00	8.2	15.0	193.0	80.0	15.3	7.3	2.8
Sharkia	00	00	5.2	12.9	247.2	49.0	12.5	5.0	1.6
Qalyubia	00	00	3.7	12.2	335.1	41.0	21.4	13.7	2.3
Kafr El Sheikh	00	00	8.6	28.5	330.0	36.0	10.4	7.6	1.3
Gharbia	00	00	10.2	24.5	239.9	44.0	18.2	7.7	2.3
Menoufia	00	00	11.3	19.2	169.9	45.0	14.7	7.8	2.0
Behera	00	00	5.4	18.9	347.1	38.0	8.9	5.8	1.0
Ismailia	00	00	8.4	16.1	152.5	82.0	21.4	10.8	3.7
Lower Egypt	98.6	64.6	8.0	10.3	246.7	00	14.0	7.3	1.0
Urban	99.8	93.1	24.6	47.7	194.0	00	00	00	00
Rural	98.1	52.6	2.3	10.3	446.0	00	00	00	00
Giza	00	00	4.0	3.0	74.2	45.0	13.0	4.4	3.2
Beni Suef	00	00	3.5	14.7	421.5	85.0	9.2	7.1	0.9
Fayoum	00	00	4.0	13.5	334.0	43.0	6.7	4.5	0.7
Menia	00	00	5.6	8.7	156.2	64.0	11.5	7.3	1.2
Assiut	00	00	7.9	24.0	303.6	93.0	17.9	8.3	2.0
Suhag	00	00	5.6	5.4	96.2	48.0	11.6	7.5	1.2
Qena	00	00	4.4	8.0	180.4	65.0	8.7	7.4	1.1
Luxor	00	00	8.7	11.3	129.6	93.0	16.8	13.9	2.1
Aswan	00	00	5.4	19.0	353.6	45.0	19.2	11.9	2.8
Upper Egypt	96.9	37.2	5.4	12.4	228.1	00	11.9	7.6	1.3
Urban	100.0	78.5	18.8	30.6	186.0	00	00	00	00
Rural	95.0	13.9	1.9	6.7	355.0	00	00	00	00
Red sea	00	00	11.3	13.0	115.2	14.0	20.9	15.0	4.0
New valley	00	00	8.1	66.4	822.2	19.0	36.2	32.4	5.7
Matrouh	00	00	11.1	32.9	295.9	58.0	25.4	23.2	4.7
North Sinai	00	00	15.5	39.2	232.9	67.0	15.3	13.8	3.4
South Sinai	00	00	15.8	30.0	189.5	0.0	35.1	32.3	5.9
Frontier Govs	88.4	42.8	12.4	34.7	279.0	00	24.4	21.3	4.5
Urban	00	00	14.2	34.8	214.0	00	00	00	00
Rural	00	00	8.6	34.8	393.0	00	00	00	00
EGYPT	98.2	62.5	6.9	14.3	209.0	55.0	16.2	8.4	2.6
Urban	99.8	89.8	13.1	21.6	165.0	00	00	00	00
Rural	96.7	37.5	2.1	8.9	414.0	00	00	00	00

* Calculated for urban govts without governorates of Cairo, and for Lower Egypt, govts without governorates of Qalyubia and for Upper Egypt govts without governorates of Giza.

(3) 社会保護¹¹⁵

社会問題省 (MoSS) は、貧困削減、社会不平等の撲滅、社会的弱者の保護、人々の生活や幸せを脅かす危機に対処するため、家計、子供、教育、労働等の様々な観点から財政支援や現物支給を実施している¹¹⁶ (図表 42 参照)。代表的な社会保護政策には、パン等の食料品、ガソリン等の燃料に対する政府の補助金付与がある。政府はセーフティネット及び補助金を中心に社会政策に取り組み、社会政策関連支出も増加している。

各政策の受益者を見ると、学校給付 (school allowances) の受益者は 60 万人、社会保障年金の受給者は 180 万人、食料配給カード (food ration cards) の受益者は 6,300 万人となっている。マイクロクレジットについても、MoSS の調査によると受益者および貸付額は拡大しているとのことである (図表 43)¹¹⁷。

しかし、そうした取り組みに反して、エジプトの貧困は依然として解消されておらず、貧困率は比較的高いままである。また、貧困世帯を対象にした社会政策については、貧困世帯に支払われる現金給付や補助金が十分でないという問題がある。補助金全体に占める貧困世帯向けの補助金の割合は小さく、社会支出全体からも見ても非常に少ない。社会保護プログラムの運営も非効率的であるため、社会保護政策が期待された効果をもたらしていない¹¹⁸。また、貧困層が利用する医療機関について、貧困層は高額な民間医療サービスを利用することが出来ないため、無料ないしヘルスケア補助が出る公的医療機関を利用するが、公的医療機関の質は低く、その意味で貧困層は十分な医療ケアを受けられない状況にあると言える¹¹⁹。

セーフティネットが貧困削減につながらない要因として、多くの貧困層が依然として社会保護の対象から外れていること、補助金の額が少なく貧困リスクの低減に不十分であること¹²⁰、本来社会保護対策の対象とはならない富裕層が恩恵を受ける結果となっていること等が挙げられる¹²¹。

¹¹⁵ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 16.

¹¹⁶ UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 129.

¹¹⁷ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 46.

¹¹⁸ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 60.

¹¹⁹ WFP(2011), Secondary data analysis of the food security situation in Egypt. p.34.

<http://www.wfp.org/content/egypt-secondary-data-analysis-food-security-situation-may-2011>

¹²⁰ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 51.

¹²¹ 図表 45 および図表 44 より、富裕層が各社会保護プログラムによる恩恵を受けていることが分かる。とりわけガソリンは、富裕層に多い自動車保有を反映して、貧困層に利益が行き届いていない。高所得層 20%は、貧困層よりも 2.5 倍のエネルギー補助金を受けているとされる (WB (2005), Egypt – Toward a More Effective Social Policy: Subsidies and Social Safety Net, p. 47.)。

図表 42 社会問題省が提供する社会サービス¹²²

BOX 6.2 SERVICES PROVIDED BY THE MINISTRY OF SOCIAL SOLIDARITY

<p>A recent (unofficial) memo has classified the current services provided by the Ministry of Social Solidarity as follows:</p>	
<p>Financial or Monetary Payments</p> <ul style="list-style-type: none"> • Welfare payments • Child support • Monthly family support • One off payments for critical needs (minimum two year intervals) • Payments to support public sector workers and their families • Payments for emergency needs due to catastrophes • Payments for families of conscripts • Payments for families in specific marginal or troubled communities (Shalateen & Halyeb, Nuba, victims of the Nag' Hammadi dam) • Compensations (short and long term) • Urgent needs payments • Social credit (<i>el-qard el-hassan</i>) • Financial aid via Nasser bank • Family insurance scheme of Nasser Bank • Zakkat payments via Nasser Bank <p><small>Source: Ministry of Social Solidarity, internal memo.</small></p>	<p>In Kind Aid and Services</p> <ul style="list-style-type: none"> • Food aid, blankets, some clothing and other items that are distributed in times of crisis to victims of natural or man-made disasters and to communities that are suffering from drought, desertification etc. <p>Developmental Services</p> <ul style="list-style-type: none"> • Income generating activities • Bank Nasser schemes to distribute inputs of production to promote small businesses • Productive families project • Skills and professional training centres • Rural women's development centres • Development of Native Nubians project • Marketing for family production and other income generation schemes • Service for residents of new settlements and cities. <p>Social Protection and Development</p> <ul style="list-style-type: none"> • Shelters and nurseries • Working Children's centres • Centres to protect delinquents and children at risk • Centres of observation • Centres of classification • Host and guest centres

図表 43 社会保障プログラム一覧とその成果¹²³

TABLE II.1A: PROGRAMS AND OUTCOMES		
Program	Outcomes	Notes
<ul style="list-style-type: none"> • School allowances 	<ul style="list-style-type: none"> • 600,000 beneficiaries 	<ul style="list-style-type: none"> • 40 LE/month allowance given to children of those on social security benefits • LE amount has been increased by 20% • Increased subsidized food items and quantities (LE 9 billion)
<ul style="list-style-type: none"> • Social security pensions 	<ul style="list-style-type: none"> • 1,800,000 beneficiaries 	
<ul style="list-style-type: none"> • Food ration cards 	<ul style="list-style-type: none"> • 63,000,000 beneficiaries 	
<ul style="list-style-type: none"> • Micro-credit • Increasing capacity of institutions for social protection 	<ul style="list-style-type: none"> • Increased beneficiaries and loans • Building homes, orphanages, better services at social units, training social workers etc. 	
<ul style="list-style-type: none"> • Poverty targeting • Food subsidy efficiency 	<ul style="list-style-type: none"> • See text below • See text below 	

Source: Ministry of Social Solidarity

¹²² UNDP Egypt (2008), Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society, p. 129.

¹²³ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 46.

図表 44 石油およびガスからの絶対移転¹²⁴

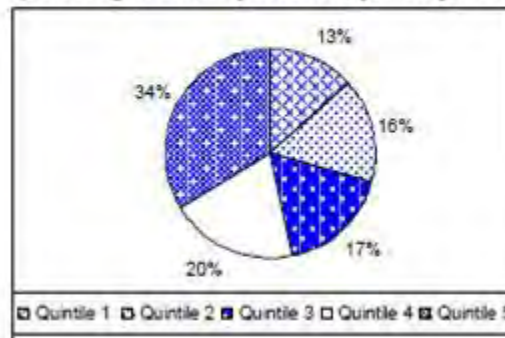
**Table 4. 6: Absolute Transfers Received from Oil and Gas
By Household Consumption Expenditure Quintile (Monthly LE per capita)**

Product	Quintile 1	Quintile 2	Quintile 3	Quintile 4	Quintile 5	Overall
Kerosene	2.51	1.97	1.49	1.25	0.74	1.61
Natural gas	0.12	0.31	0.49	0.75	3.13	0.96
Gasoline	0.02	0.05	0.18	0.28	7.53	1.59
LPG	6.23	8.22	9.32	10.68	10.89	9.13
Above Four Products	8.88	10.55	11.48	12.96	22.29	13.29
Value of Four Subsidy as % of Consumption Value	7.66	6.51	5.66	4.93	4.07	5.15

Source: HIECS, July-September 2004.

図表 45 各階層が受け取る石油製品補助金の割合¹²⁵

Figure 4. 1: Distribution of Subsidies of Four Petroleum Products (LPG, Gasoline, Kerosene, and Natural Gas) (Percentage of Subsidy received by each quintile)



¹²⁴ WB (2005), Egypt – Toward a More Effective Social Policy: Subsidies and Social Safety Net, p. 48.

¹²⁵ WB (2005), Egypt – Toward a More Effective Social Policy: Subsidies and Social Safety Net, p. 47.

図表 46 セーフティーネット及び補助金の効果¹²⁶

Table 1. Overview of the social safety net and subsidies

Program	Economic Cost (% of GDP, FY04)	Estimated Poverty Impact	Relative Importance	Leakage	Efficiency	Subsidy Rate
		% of population lifted above poverty line	Subsidy as % of consumption of poorest quintile	% of subsidy resources to richest quintile	Delivery Cost per LE 1 going to poor	(%)
Safety Net	0.3	0.6	1.0	17.0	4.4	n.a.
Cash transfers	0.1	0.6	1.0	17.0	4.4	n.a.
Social Development Fund	0.2	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
Food Subsidies	1.7	5.0	9.0	24.0	5.4	61.4
Baladi bread	1.3 ^A	2.7	5.3	21.0	5.2	67.0
10-Plaster bread	n.a.	0.0	0.1	74.0	46.4	47.0
Ration Card Goods B	0.4	1.9	3.6	20.0	5.1	37.0
Electricity subsidy	0.2	0.8	1.4	28.0	7.8	95 ^C
Energy Subsidy	8.1	5.7	7.6	34.0	7.7	75.7
LPG	1.1	4.4	5.4	24.0	7.7	88.0
Gasoline	0.3	0.0	0.0	93.0	407.1	47.6
Kerosene	0.2	1.1	2.2	9.0	3.2	81.0
Natural gas	3.0	0.1	0.1	65.0	31.4	79.7
Others (Diesel, Fuel oil, asphalt)	3.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
Total	10.3					

NOTES:

^A Subsidy cost of 1.3 percent of GDP is for baladi bread, 10-plaster bread and wheat flour.

^B Ration card goods include: sugar, oil, tea, ghee, beans, lentils, rice, and pasta.

^C The electricity rate shown here is a combined one. The subsidy rate for electricity varies according to consumption bracket.
n.a.: not available or not applicable.

2. 投資・ビジネス環境改善

エジプトは、2004年のナズィーフ政権発足以来、投資環境の改善に取り組んでおり、その一環として、所得税、法人税の引き下げといった税制改革、官僚主義の廃止を目的とした One-Stop-Shop の設置¹²⁷、会社設立の際の最低資本金の引き下げ¹²⁸等を実施した。その結果、世銀が毎年発表する報告書 **Doing Business** において、2006/07 年度にその年の投資環境の改善に関して世界で最も改革を行った国であると評価されたのに続き、2007/08 年度にも 2 年連続して 10 大改革国の 1 つに選ばれた¹²⁹。世界全体の総合順位で見ると、2007/08 年度は 181 か国中 114 位と、依然として投資環境に改善の余地を残しているとはいえ、2005/06 年度は 175 か国中 165 位であったことを踏まえると、エジプトのビジネス環境上の地位は急速に高まっており、引き続き改革が行われることが期待される。

政府は、投資誘致を地方にまで広げることで地方産業の活性化とともに雇用の拡大を図り、市民が投資の恩恵を受けられるよう努力している。代表的な計画として上エジプト

¹²⁶ WB (2005), Egypt – Toward a More Effective Social Policy: Subsidies and Social Safety Net, p. vi.

¹²⁷ 適切な機能を果たしていない手続きを迂回または迅速に行うために複数の行政機関の代行サービスを担う (Stone (2006), Establishing a Successful One Stop Shop: The case of Egypt, p. 4.)。2005 年に最初のサービスがカイロで開始され、これにより、会社設立に要する時間と費用が半分に削減され、カイロのみならずアレキサンドリア、アシュート、イスマイリヤでも同サービスが開始されたことで、地方の企業家がビジネス開始のためにカイロに行く必要がなくなった (WB/IFC (2007), Doing Business in Egypt 2008, p. 6.)。

¹²⁸ 2006/07 年度に政府は最低資本金をそれまでの 50,000LE から 1,000LE に引き下げるという大胆な改革を実施した。これにより、同改革後の 6 か月間、カイロ、アレキサンドリア、アシュートの 3 都市で設立された企業数は 2006 年よりも 72% 増加した (WB/IFC (2007), Doing Business in Egypt 2008, p. 6.)。

¹²⁹ Doing Business ウェブサイト参照。 <http://www.doingbusiness.org/reforms/top-reformers-2008> (2011 年 12 月 15 日アクセス)

地域の開発計画がある。上エジプト地域は、首都カイロを中心とする大カイロ圏、ナイル川河口付近のデルタ地域と比べると交通の便も悪く、インフラも未整備なため、開発後進地域となっている¹³⁰。上エジプト地域では、メガ・プロジェクトの一つである西部砂漠地域のトシュカにおける大規模農場設立計画¹³¹など、辺境地の開発が進められており、民間の活力も巻き込んだ多くの投資を呼び込もうとする計画が進められている。そのため、2005年のムバラク前大統領による選挙公約や2007/08-11/12年度の第6次社会経済開発五か年計画においても同地域の開発が重点施策となっている¹³²。

ムバラク政権下では、上エジプト開発における同地域への投資促進策として、従業員一人の雇用につき、15,000LE の手当、土地の無償提供といった企業誘致計画が策定された¹³³。流通コストやインフラ整備の問題があるため、労働集約型産業である農業、繊維産業を中心に関連企業の進出が期待されているが、産業の新興に向けた工業地区の設立が図られており、外国投資を地場産業の発展に結びつけることができれば、雇用確保と共に農村における貧困対策として有効となりうる。

3. 輸出振興・産業育成

零細企業はエジプトの私企業の99%以上を占めており、非農業セクターの雇用の85%、総雇用の40%にあたる。過去8年に渡って、労働市場参入者の最大の就職先であった。過去10年間、平均年率4%の成長率で企業数が増え、雇用数は平均年率5%で増加したが、セクターは脆弱である。起業の高い増加の要因は高い失業率であり、若年層が新ビジネスを設立した。特に小売り業で多く、移動の際の交通事故などによる高い死亡率につながっている。標準的なエジプトの零細・小企業は2.3名の従業員であり、すべての私企業の4分の3は3名以下の従業員しかいない。80%以上の零細企業はインフォーマルであり、低付加価値、低品質、低商業実績である。企業登録済みの零細企業は煩雑で官僚的で、現実にそぐわない法や規制の対象になる。また、フォーマル金融サービス、ビジネス関連サービス、マーケット、情報、技術、技術者、適正価格の投入財へのアクセスなどの障害に直面する。零細企業の数が増加しているが、貧困削減にはつながっておらず、むしろ、貧困率は近年増加している。

発展途上国共通の特徴であるが、これらの企業は小売業、サービス業に集中している。

¹³⁰ IFAD, Rural Poverty Portal 参照。 <http://www.ruralpovertyportal.org/web/guest/country/home/tags/egypt> (2012年1月12日アクセス)

¹³¹ WB (2009), Upper Egypt: Pathways to Shared Growth, pp. 31-32. トシュカ・プロジェクトは、中東で最大級の灌漑プロジェクトであり、上エジプト地域にあるナセル湖から水を引くことでエジプトの灌漑地を7%拡大し、工業と農業を基盤とした新たな土地に300万人の定住を目指したもの。1997年にプロジェクトが開始され、海外の投資家等から70億LE(約10億米ドル)の投資が集められた(WB(2009), Arab Republic of Egypt Upper Egypt: Pathways to Shared Growth, pp. 31-32.脚注)。

¹³² MoED (2007), The Sixth Five-Year Plan 2007-2012. 2007, pp. 102-103. <http://www.mop.gov.eg/english/sixth%20five%20year.html> (2011年12月15日アクセス)

¹³³ Industrial Development Authority ウェブサイト参照。 http://www.ida.gov.eg/upper_egypt_en.html (2011年12月15日アクセス)

2008年12月の時点で、すべての零細企業のうち59%が小売業・仲介業であり、27%がサービス業、14%が製造業である。マイクロ・小企業はエジプトの企業の大部分を占めるにもかかわらず、輸出への貢献は非常に少なく、2008年の総輸出額の4%にすぎない¹³⁴。

エジプト輸出の好調振りは、財・サービス輸出に対する債務利払いの割合の低下に表されている。また、エジプトの対外債務は、対GDP比で1990/91年に100%を超えていたが、2008/09年には16.7%にまで減少した。エジプトの財・サービス輸出額は2003/04年の1,050万米ドルから2008/09年に2,520万米ドルに増加し、エジプトの対EU輸出のシェアは2008/09年に34%に達し、対米国輸出のシェアは25.5%となった。これは、EUや米国への輸出の際に非関税措置によるアクセスが増えたほか、一部の途上国への農業、繊維・衣類製品輸出の関税が撤廃されたことによるものである¹³⁵。

エジプトは貿易活性化のため、地中海、アフリカ、中東といった近隣諸国を中心に貿易協定締結等のパートナーシップ強化を進めている。具体的なパートナーとしては、欧州・地中海諸国（欧州・地中海パートナーシップ協定、EU・エジプト連合協定、アガディール協定）、米国（QIZ協定）、アフリカ諸国（COMESA、ナイル川流域イニシアティブ）、アラブ諸国（ACM、GAFTA）などが挙げられ¹³⁶、地理的特性を活かした近隣地域市場への参入を拡大するための積極的なアプローチを行っている。

エジプトは、国家工業開発戦略（National Industrial Development Strategy）に基づき、輸出主導型の製造業の発展に取り組んでいる。その結果、工業部門は、飛躍的な発展を遂げ、当初の想定を上回る年率7.8%成長を達成した。他方で、今後の更なる工業部門の発展のためには、2つの主要課題があり、天然資源等の第一次産品が大半を占める現在の輸出構造から高・中程度の技術をベースとした製品輸出への変革、アジアからの輸入製品と競合しながらEU市場向け食品の新たな衛生規制対策に取り組む必要がある¹³⁷。

4. 農業・農村開発

農村に住む3分の2の貧困層が農業に従事している。労働力人口の40%が農業に従事しているが、農業に従事する人は、貧困層（55%）が非貧困層（31%）を上回っている。ナイル川渓谷およびデルタは、気候や土壌が農業に適しており、生産性は高い。しかし、エジプト全体で見ると、農業が可能な土地は国土の3%に過ぎず、降雨量が少ない同国にお

¹³⁴ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt. p.36.

¹³⁵ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 9.

¹³⁶ MoIFT ウェブサイト参照。 <http://www.mfti.gov.eg/english/agreements.htm> (2011年12月15日アクセス)

この他、エジプトは、二国間による自由貿易及び特惠貿易協定を結んでおり、主な相手国には、トルコ、リビア（1990年12月関税貿易協定署名）、シリア（1991年7月貿易協定署名）、チュニジア（1998年5月自由貿易協定署名）、モロッコ（1998年5月自由貿易協定署名）、レバノン（1999年1月貿易保護実施プログラム署名）、ヨルダン（1998年10月貿易保護実施プログラム署名）、イラク（2001年1月自由貿易協定設立のための実施プロトコール署名）がある（MoIFT ウェブサイト参照）。最近では、2007年8月にEFTA（アイスランド、スイス、ノルウェー、リヒテンシュタイン）と、2007年にトルコと自由貿易協定を締結した。

¹³⁷ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 17.

いて、灌漑された土地が少ないことが農業生産の成長を妨げる大きな要因となっている¹³⁸。また、貧困農家は、土地や貸付、最新の農業技術へのアクセスが限られているため、農業生産性を向上させることができないとも考えられている¹³⁹。以上のようにエジプトの農業は生産性が十分でないため、農業収入は他の収入よりも重要度が低い¹⁴⁰。一般的に低・中所得国においては、降水量の変化が農業所得の不安定性をもたらす、貧困にも多大な影響を与えるが、エジプトではほぼ全ての農業がナイル川の恩恵によって灌漑されており、降水量の変化が収穫高の決定要因ではない。実際の生産高は、1991年から2003年の間に着実に増加しており、農業・土地開拓省の統計によると、1999年から2004年の間に国内全ての地域において家畜所有数は上昇している。しかし、FAOの統計によると、1991年から2003年にかけて27%上昇した農業生産高の実質価値は、作付けされた土地が17%増加したことによるものである。この作付面積の拡大は、大学を卒業した若い労働者や商業活動用に割り当てられた“新しい土地”を開拓した結果としてもたらされたものであり、既存の“古い土地”で農業を営む貧困世帯は、作付面積を拡大することができない。このため、土地生産性の成長が低迷する大半の農家は、貧困から抜け出すことができない¹⁴¹。

エジプトの主な農業製品には、生産量別で見ると、さとうきび、トマト、小麦、米、とうもろこしがあり、価格別では、トマト、米、水牛乳、小麦、グレープが代表的である。エジプトは野菜や果物を中心に良質な原料を有するにもかかわらず、食品加工分野における付加価値は20%を下回り、トルコ、モロッコ、中国、スペインと比べて低い数値となっている。じゃがいも、トマト、オリーブの生産は比較優位性があるが、加工品は殆ど輸出されることがなかった。しかし、近年では冷凍、缶製品を中心に野菜の加工分野が伸びており、2005年から2009年の間の成長率は118%に達した。中小企業が87%を占める食品加工分野は、特に品質、食品安全、トレーサビリティ（原材料から製造・販売・廃棄までの履歴管理）において戦略的計画が必要とされている。政策立案者には、エジプトの地理的特徴を活かし、かつ需要に基づく製品を開発しながら市場アクセスを確保することが求められる

全人口の57%は貧困が蔓延する地方に住み、貧困層、最貧困層の70%が地方に住む¹⁴²。農業セクターのGDPへの貢献は2007年には14%と徐々にその重要性は薄れているが、依然として労働人口の30%を雇用する最大の雇用分野である。また、女性労働力は全体でわずか11%であるが農業においては40%である¹⁴³。貧困層または食糧危機にある人々の70%程度が地方に住み、これらの多くが食糧供給と収入源を農業に依存している。

生産システムは主に小規模複合農業であり、半数近くの農家が0.85ヘクタール（2フ

¹³⁸ IFAD ウェブサイト参照 (<http://www.ruralpovertyportal.org/web/guest/country/home/tags/egypt>)

¹³⁹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 55.

¹⁴⁰ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 71.

¹⁴¹ MoED/WB (2007), Egypt - Poverty assessment update, p. 54.

¹⁴² UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 88.

¹⁴³ 以下 WFP(2011), Secondary data analysis of the food security situation in Egypt, pp.11-13. .

エダン) 以下の耕作を行っている¹⁴⁴。大部分の耕作はナイル流域およびデルタ地帯の灌漑農法であり、9%のみが天水またはオアシス地域である。「古い農地」では土地の細分化が小麦のような戦略的な主食穀物の生産を妨げる主たる理由である。世界で最も多くの肥料を投入し、集約農法を行い、灌漑への不十分・不規則な水供給にもかかわらず、面積当たりの収穫量も多い。このような小農にとって、耕作は世帯の穀物ニーズや家畜の飼料を自給自足するためのものである。一方、政府補助のある食糧は農産物売価よりも低い値段で入手可能なため、自給ではなく販売にまわす農家も多い。耕作面積が小さいため、農家は農業セクター内外で生計手段を多角化せざるを得ず、都市や海外への季節的な移動労働者となる。農産物の多くはローン返済の必要から収穫と同時に売りさばかれる。砂漠に新規開拓された「新農地」は耕作地も大きく市場性のある輸出用の換金作物の耕作がされている。

畜産は平均すると農業生産の40%以上にもなる。畜産は通常、穀物生産よりも生計向上に非常に重要である。家畜生産の80%は小農によって生産されているが、近年、近代的な乳牛・食肉牛の生産も増加している。2008年には40%の小農が家畜を所有しており、上エジプト地区ではその割合がさらに49%である。養鶏の生産も増加しており、約150万人が専業で、100万人が季節労働者として従事している。2008年には6世帯のうち1世帯が養鶏をしている。

エジプト政府は、政治的優先課題として上エジプト地域の開発を強化している。同地域は、土壌が肥沃で水も豊富であり、労働コストも低い。また、耕作可能な土地が多く、気候が安定しているため収穫時期を3、4週間短縮することが可能である。このように上エジプト地域は、農業生産拡大の可能性を有している。他方、生産性は、上エジプト地域における主要課題であり、収穫前後の作物の取り扱いが不適切であることや、輸送やインフラ設備の欠陥によって、作物を収穫後市場に出荷できず、損失が生じている。生産者の多くは、生産段階から市場に出荷するまでの十分な情報を持ち合わせていない。また、肥料、殺虫剤及び水の適切な投入量に関しても、旧来の考えに依存しているため、生産性の改善につながっていないという問題がある¹⁴⁵。

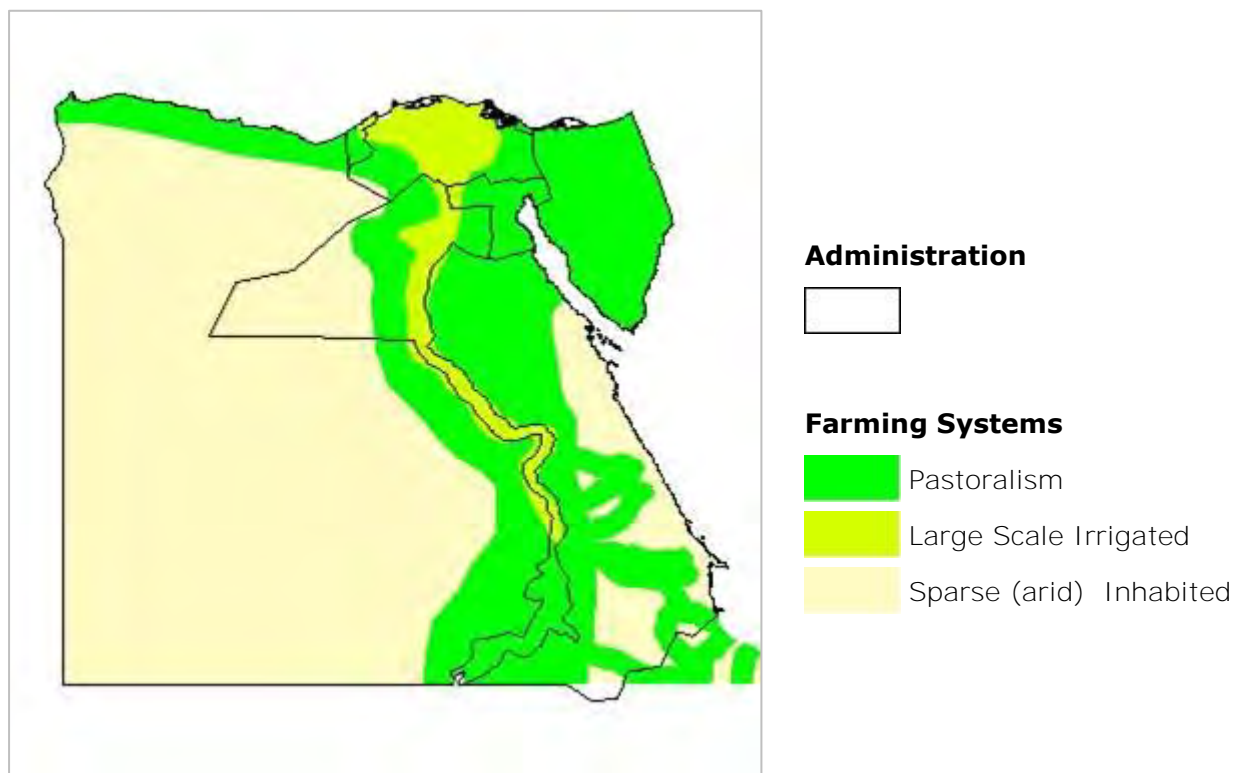
このように、様々な課題を抱えているものの、農業部門は、食糧安全保障、雇用創出、農業所得ひいては国家収入の拡大、バランスが取れて持続可能な成長という目標を同時に達成し、かつ経済成長及び競争力の源になる可能性を有している¹⁴⁶。

¹⁴⁴ 以下 WFP(2011), Secondary data analysis of the food security situation in Egypt, pp.11-13.

¹⁴⁵ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, pp. 31-32.

¹⁴⁶ UNDP Egypt (2010), Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt, p. 32.

地図 3 主要農業システム (2001 年) ¹⁴⁷



¹⁴⁷ FAO <http://www.fao.org/countryprofiles/Maps/EGY/01/fs/index.html>

(2012 年 2 月 14 日アクセス)

添付 1. 参考文献リスト

邦語文献

JICA 研究所 (2011) 国別主要指標 エジプト

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

外国語文献

GoE/UNDAF (2009), *Mid-Term Review, Development Assistance Framework (2007 – 2011)*.

<http://erc.undp.org/evaluationadmin/manageevaluation/viewevaluationdetail.html?evalid=3622>

Massoud, Nada (2008), *Assessing the Employment Effect of FDI Inflows to Egypt: Does the Mode of Entry Matter?*

http://www.arab-api.org/conf_0308/p12.pdf

MoE (2007), *National Strategic Plan for Pre-University Education Reform In Egypt*.

http://planipolis.iiep.unesco.org/format_liste1_en.php?Chp2=Egypt

MoED (2007), *The Sixth Five-Year Plan 2007-2012*.

<http://www.mop.gov.eg/english/sixth%20five%20year.html>

MoED/WB (2007), *Egypt - Poverty assessment update*.

<http://www-wds.worldbank.org/external/default/main?pagePK=64187835&piPK=64187936&theSitePK=523679&siteName=WDS&menuPK=64187283&callBack=&projectId=P103207&siteName=WDS&menuPK=64187283&callBack=>

Neamatalla, Mounir (1998), *Zabbaleen Environment & Development Program, Cairo, Egypt*.

http://www.megacitiesproject.org/pdf/publications_pdf_mcp018d.pdf

Stone, Andrew (2006), *Establishing a Successful One Stop Shop: The case of Egypt*

(<http://www.imf.org/external/np/seminars/eng/2006/arabco/pdf/stone.pdf>)

UNCTAD (2007), *World Investment Report 2007*

http://www.unctad.org/en/docs/wir2007_en.pdf

UNDP (2010), *The Millennium Development Goals 2010, Egypt's Progress Towards Achieving*.
http://hdr.undp.org/xmlsearch/reportSearch?y=*&c=n%3AEgypt&t=*&lang=en&k=&orderby=year

UNDP (2011), *Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Egypt*, HDI values and rank changes in the 2011 Human Development Report.
(<http://hdrstats.undp.org/images/explanations/PSE.pdf>)

UNDP Egypt (2005), *Egypt Human Development Report 2005, Choosing our Future: Towards a New Social Contract*
<http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name,3335,en.html>

UNDP Egypt (2008), *Egypt Human Development Report 2008, Egypt's Social Contract: Role of Civil Society*.
<http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name,3450,en.html>

UNDP Egypt (2010), *Egypt Human Development Report 2010, Youth in Egypt: Building our Future*
<http://hdr.undp.org/en/reports/national/arabstates/egypt/name,20494,en.html>

UNDP Egypt (2010), *Situation Analysis: Key Development Challenges Facing Egypt*.
http://www.undp.org.eg/Portals/0/Homepage%20Art/2010_Sit%20Analysis_KDCFE_English.pdf

UN Egypt (2005), *UN Common Country Assessment, Embracing the Spirit of the Millennium Declaration*.
<http://www.undg.org/unct.cfm?module=CoordinationProfile&page=Country&CountryID=EGY&fuseaction=UN%20Country%20Coordination%20Profile%20for%20Egypt>

World Bank (2005), *Egypt – Toward a More Effective Social Policy: Subsidies and Social Safety Net*.
<http://go.worldbank.org/NWAIKXWPT0>

World Bank(2009), *Arab Republic of Egypt, Upper Egypt: Pathways to Shared Growth*.

<http://siteresources.worldbank.org/INTDEBTDEPT/Resources/468980-1218567884549/5289593-1224797529767/EgyptDFSG03.pdf>

World Bank (2011), *Was growth in Egypt between 2005 and 2008 pro-poor ?* from static to dynamic poverty profile.

<http://go.worldbank.org/VIE5CX6QD0>

WFP(2011), *Secondary data analysis of the food security situation in Egypt.*

<http://www.wfp.org/content/egypt-secondary-data-analysis-food-security-situation-may-2011>

添付 2. 主要な情報源リスト

エジプト政府

内閣府 <http://www.cabinet.gov.eg/>

中央銀行 <http://www.cbe.org.eg/>

中央統計局

<http://www.msrintranet.capmas.gov.eg/pls/fdl/tst12E?action=1&lname=>

国際機関

国連開発計画エジプト事務所 <http://www.undp.org.eg/>

世界銀行 国別事業（エジプト）

<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/MENAEXT/EGYPTEXTN/0,.menuPK:247804~pagePK:141159~piPK:141110~theSitePK:256307,00.html>

アフリカ開発銀行 <http://www.afdb.org/en/>

貧困データ

世界銀行データ <http://data.worldbank.org/country/egypt-arab-republic>

国連公式 MDG データ <http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Data.aspx>

UNDP 人間開発指標 エジプト

<http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/EGY.html>